

市内遺跡発掘調査報告書

(平成26年度)

－長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書－

2015. 3

諏訪市教育委員会

例 言

1. 本書は長野県諏訪市の市内遺跡についての平成 26 年度発掘調査報告書である。
2. 調査主体者は諏訪市教育委員会であり、各作業及び本書編集は諏訪市教育委員会事務局が担当した。
3. 現地調査期間は遺跡ごとに記載した。整理作業は平成 26 年 12 月から平成 27 年 3 月まで、諏訪市埋蔵文化財整理室で行った。
4. 発掘作業と整理作業の分担は下記の通りである。
発掘・遺構等実測…児玉利一・赤堀彰子・増澤道夫・古畑しずゑ・神奴勝正・宮坂今朝芳・川野慎一
遺物水洗・注記…赤堀・増澤・古畑 遺物実測・トレース・採拓・写真撮影…児玉
石器実測…日野正祥（諏訪高島城学芸員） 本文執筆…児玉
5. ジャコッパラNo22 遺跡出土の黒耀石について、蛍光 X 線分析による産地推定を池谷信之氏（沼津市文化財センター）に依頼した。分析結果について本書に収録している。
6. 各遺跡の調査記録は諏訪市教育委員会で保管している。略称・出土遺物の注記は下記の通りである。
高島藩主廟所…T H S B 2 大安寺遺跡…S M D 1 4 諏訪神社上社遺跡…S J K 7 ジャコッパラ
No22 遺跡…J K P 2 2-2
7. 発掘調査および報告書作成に際し、下記の方々をはじめ多くの方々にご指導・ご協力を得た。記して感謝申し上げます。（五十音順、敬称略）
池谷信之 中島 透 日野正祥 宮坂 清 守矢昌文 柳川英司 株式会社シリウス 株式會社千代田
ポンプ機械 公益財団法人文化財建造物保存技術協会 渋崎建設株式会社 宗教法人諏訪大社 長野
県教育委員会事務局文化財・生涯学習課

凡 例

1. 本文中における水系レベルは可能な限り絶対標高を使用している。
2. 本文中第 1 図は国土地理院平成 15 年 12 月 1 日発行 1/50,000『諏訪』と平成 11 年 1 月 1 日発行 1/50,000『高遠』を使用し、加筆した。第 10 図は諏訪大社平成 24 年 3 月 31 日発行『信濃國一之宮諏訪大社上社本宮建造物調査報告書』119 頁「図 1 配置図」を使用し、加筆した。第 13 図は国土地理院平成 15 年 12 月 1 日発行 1/50,000『諏訪』を使用し、加筆した。第 14 図は開発予定事業者が作成した測量図を借用し、加筆した。上記以外は諏訪市役所発行の都市計画基本図を使用した。
3. 遺跡名称および位置について、諏訪市以外は次の資料を参考にした。下諏訪町教育委員会 1986『下諏訪町の埋蔵文化財』、下諏訪町教育委員会 2008『黒耀石原産地遺跡分布調査報告書Ⅱ- 星ヶ塔遺跡 - 』、長門町教育委員会・鷹山遺跡群調査団 2001『鷹山遺跡群Ⅴ 星糞峠縄文時代黒耀石採掘鉦山の測量調査 - 1998 ～ 1999 年度調査報告書 - 』、茅野市教育委員会 2007『茅野市遺跡分布図』
4. 執筆者間での用語の統一は行っていない。
5. 遺物観察表の法量欄で、() は推定復元値である。
6. 遺物番号は実測図版と写真図版で一致する。また、ジャコッパラNo22 遺跡の黒耀石は蛍光 X 線分析 No. と一致する。

目次

例言・凡例

目次

I 市内遺跡発掘調査について	1
II 高島藩主廟所（第2次）	3
III 大安寺遺跡（第14次）	6
IV 諏訪神社上社遺跡（第7次）	9
V ジャコッパラNo.22遺跡（第2次）	15
VI ジャコッパラNo.22遺跡他の黒曜石産地推定	20
写真図版	27
報告書抄録	37
奥付	



I 市内遺跡発掘調査について

1 今年度の発掘調査

諏訪市内には現在 220 箇所以上の埋蔵文化財包蔵地が確認されている。これらの包蔵地内における開発行為は例年発生しているが、以前に多かった規模の大きな開発事例は年々少なくなり、近年では個人住宅建設などの小規模なものが主体となっている。諏訪市教育委員会ではこれらの開発行為に迅速に対応するため、国庫補助事業として「市内遺跡発掘調査等事業」を実施し、埋蔵文化財の保護を図っているところである。

本年度の埋蔵文化財包蔵地内での開発行為に伴う発掘届および通知の提出は 10 件あった。件数は昨年に続き低調に推移している。これらのうち、2 件について試掘・確認調査を実施し、本書でその内容について報告したい（第 1 図）。また、ジャコッパラNo.22 遺跡については文化財保護法第 99 条により開発予定地内の試掘調査を実施した。高島藩主廟所第 2 次調査については、平成 25 年度市内遺跡発掘調査等事業での実施だが、調査が 3 月であったため『市内遺跡発掘調査報告書（平成 25 年度）』に収録出来なかった。よって本書に収録し報告する。

・補助事業決定の経過（抄）

平成 26 年 2 月 7 日付け 25 生学文第 113 号

平成 26 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付申請書

平成 26 年 4 月 1 日付け 25 庁財第 562 号（長野県教育委員会指令 26 教文第 1-40 号）

平成 26 年度国宝重要文化財等保存整備費補助金交付決定通知書

2 調査組織

調査組織名 諏訪市教育委員会

調査主体者 小島 雅則（教育長）

事務局 高見 俊樹（教育次長）

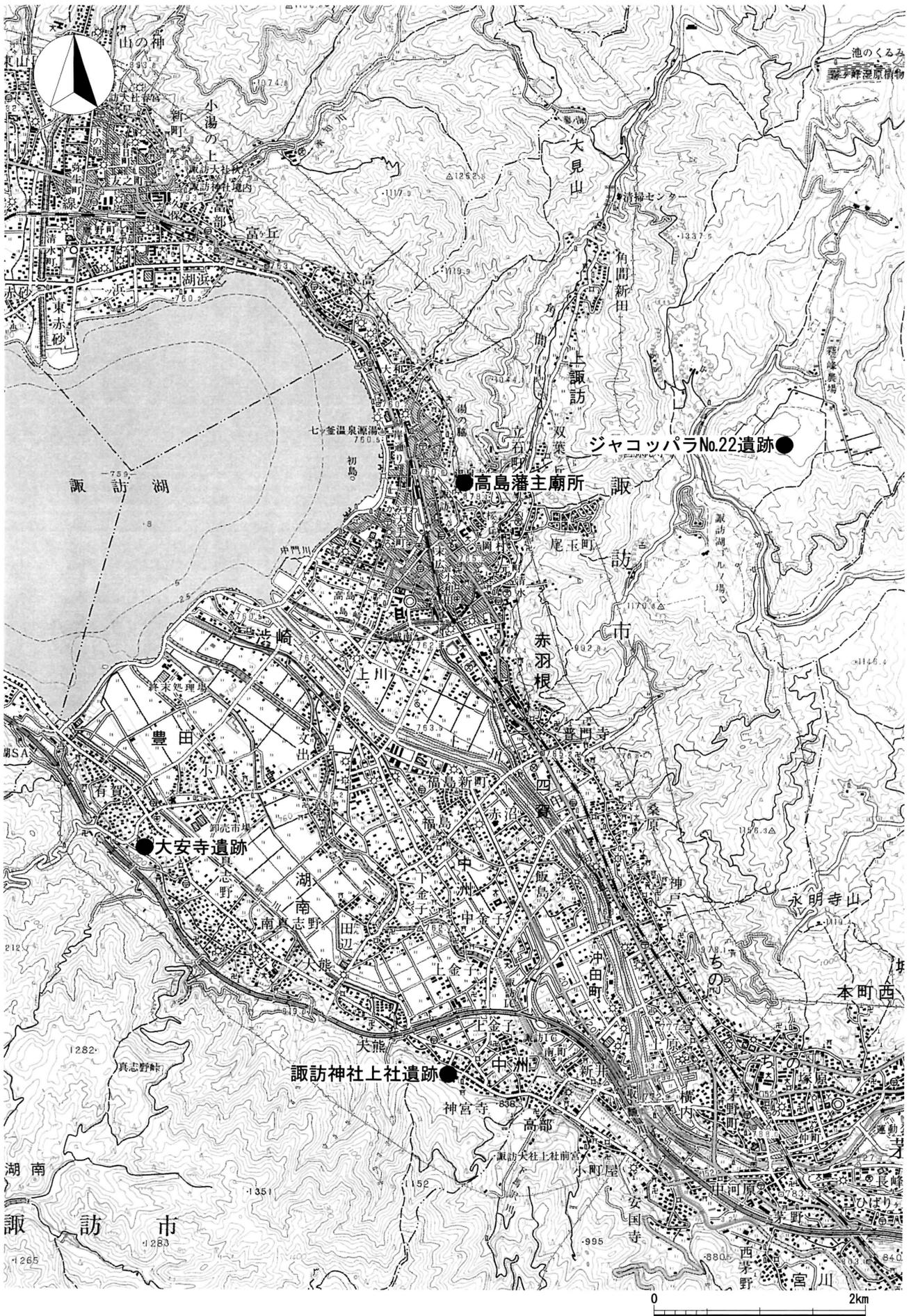
亀割 均（生涯学習課 課長）

田中 総（生涯学習課文化財係 係長）

関沢 佳久（生涯学習課文化財係 主査）

兎玉 利一（生涯学習課文化財係 主任 調査担当者）

調査参加者 赤堀 彰子・神奴 勝正・川野 慎一・古畑 しずゑ・増澤 道夫・宮坂 今朝芳



第1図 平成26年度調査遺跡位置図 (S=1/50,000)

Ⅱ 高島藩主廟所（第2次）

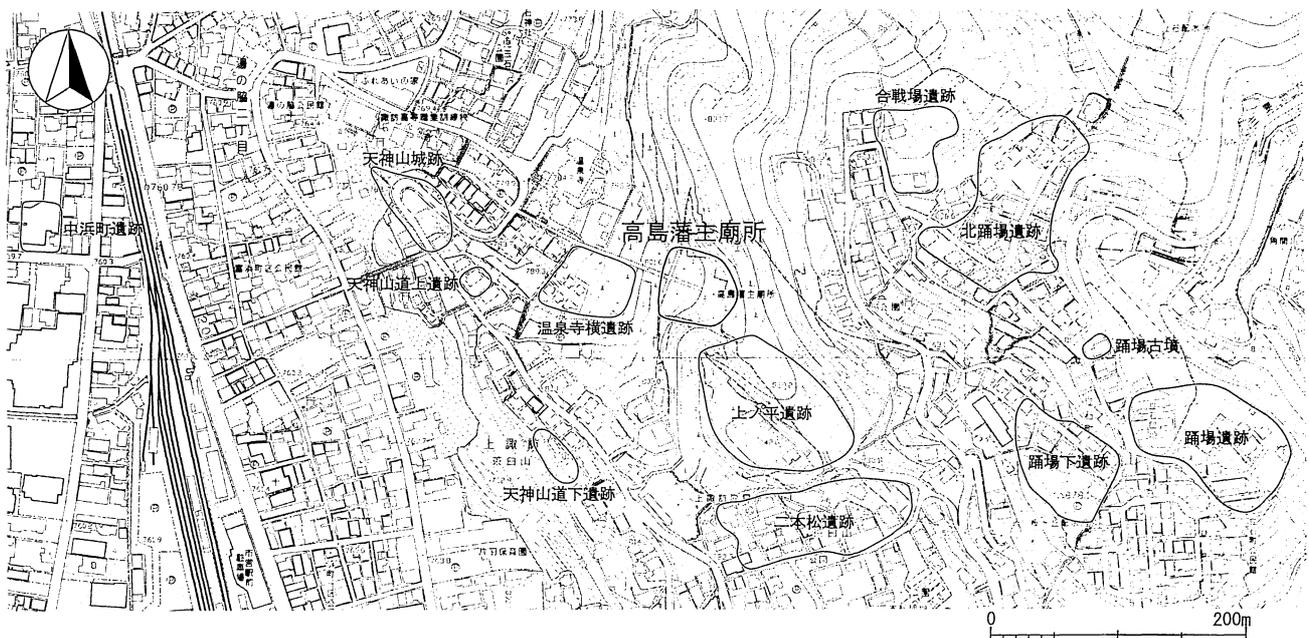
- | | | | |
|---------|-----------------------|---------|--------------|
| 1. 所在地 | 諏訪市上諏訪北垣外 10637-15 | 4. 調査目的 | 保存目的のための確認調査 |
| 2. 調査期間 | 平成 26 年 3 月 13 日～17 日 | 5. 検出遺構 | なし |
| 3. 調査面積 | 3 m ² | 6. 出土遺物 | 石造物片（近現代） |

7. 遺跡概要及び調査概要

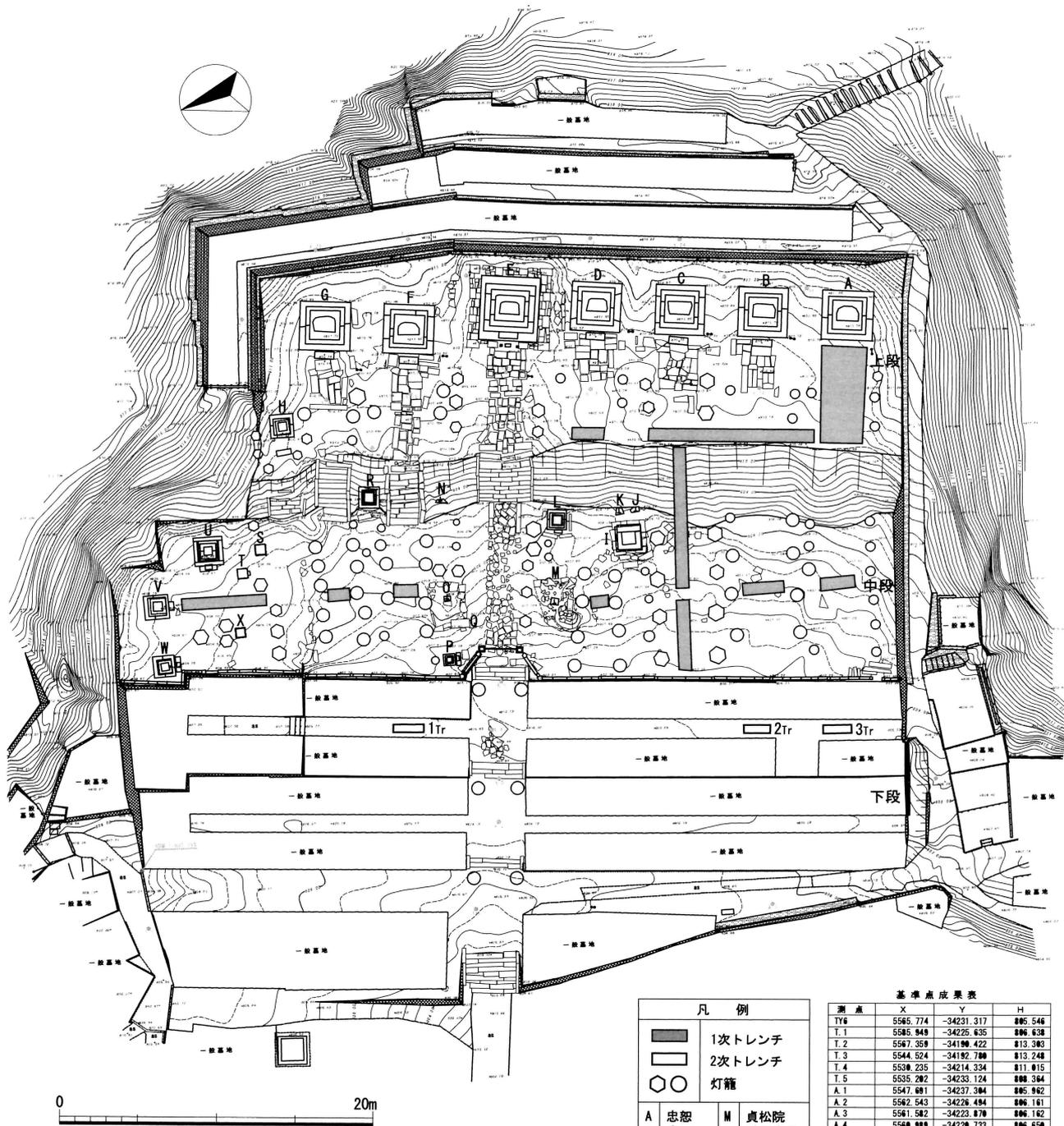
高島藩主廟所（以下、廟所と呼称）は、近世高島藩の藩主であった諏訪家の墓所である。諏訪湖東岸の霧ヶ峰丘陵端にあたる、臨江山温泉寺の裏山に所在する（第 2 図）。背後には霧ヶ峰高原から流れる角間川が解析した谷が発達しており、諏訪湖沿岸は断層崖と急傾斜で小規模な扇状地が続く。廟所背後の階段状丘陵には上ノ平遺跡や茶臼山遺跡などの旧石器時代遺跡が多く所在する。藩主居城の高島城は南西方向に直線距離で約 1.3km の位置にある。断層崖下に沿って甲州道中が通り、下諏訪宿へと至る。

温泉寺は二代藩主の諏訪忠恒が慶安 2 年（1649）に建立し、藩主菩提寺として永く崇敬され現在に至っている。元文 2 年（1737）と明治 3 年（1870）に火災のため焼失し、当初の建物は残されていない。

廟所には二代忠恒から八代忠恕までの七代の藩主墓と、室や子供の墓がある（第 3 図）。藩主墓の前面には石敷きの参道があり、両側には石灯籠が並び立っている。石灯籠は現存する数で 116 基ある。廟所の特徴は歴代藩主と家族の墓が江戸時代を通じて一箇所に造営されている点と、巨大で独特な形式の墓標にある。藩主の墓標は下段が一辺 3m を越える石製方形基壇を 3 段重ね、その上に特殊な舟形（無縫塔半裁形）の標身を置く。高さは 2.61m から 2.79m である。また、二代藩主墓には木造御霊屋が設けられていた。寛文 13 年（1673）の建立で宝形造りの装飾の少ない素木造りである。倒壊の危険性があったため、平成 19 年（2007）に記録作成を行ったうえで解体し、部材は保管、現地には仮覆屋を設けている。なお、初代藩主の頼水の墓は茅野市の頼岳寺境内に所在している（茅野市教育委員会 1988）。墓標は 3m ほどの籃塔形で、内部に板状の石造物が安置されている。同様の墓標形式は頼水正室の貞松



第 2 図 高島藩主廟所位置図 (S=1/6,000)



凡例

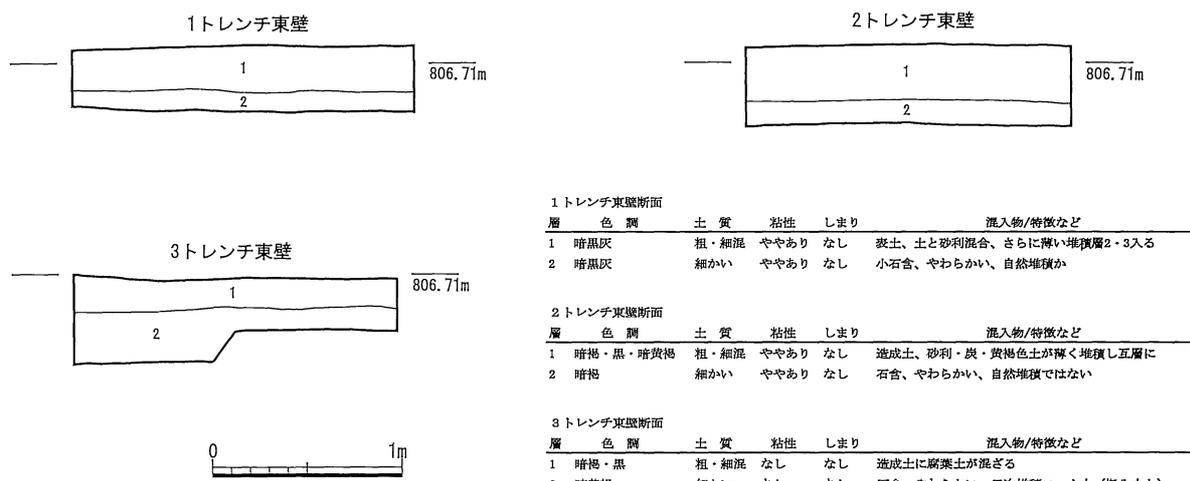
	1次トレンチ
	2次トレンチ
	灯笼

A	忠恕	M	貞松院
B	忠厚	N	秀天童子
C	忠晴	O	頼水
D	忠虎	P	瑤心院
E	忠桓	Q	未詳
F	忠林	R	月桂院
G	忠胤	S	寂照院
H	忠尊	T	幻光院
I	盛光院	U	清昌院
J	未詳	V	雲台院
K	未詳	W	蘭香院
L	遠晴院	X	桂林院

基準点成果表

測点	X	Y	H
TV6	5565.774	-34231.317	005.546
T.1	5585.949	-34225.635	006.630
T.2	5587.359	-34190.422	013.303
T.3	5544.524	-34192.700	013.248
T.4	5530.235	-34214.334	011.015
T.5	5535.202	-34233.124	006.384
A.1	5547.091	-34237.084	005.962
A.2	5582.543	-34226.484	006.161
A.3	5561.582	-34223.070	006.162
A.4	5560.989	-34220.733	006.650
A.5	5558.385	-34217.974	006.762
A.6	5554.619	-34204.547	005.017
A.7	5562.213	-34200.847	010.452
A.8	5563.962	-34197.053	010.540
A.9	5564.404	-34189.728	011.201
A.10	5558.077	-34181.456	010.910
A.11	5552.847	-34182.438	010.535
A.12	5554.753	-34188.471	010.589
A.13	5550.014	-34204.053	010.364
A.14	5552.400	-34199.162	010.570
A.15	5542.307	-34185.007	011.110
A.16	5537.210	-34187.995	011.055
A.17	5542.170	-34202.495	010.607
A.18	5537.450	-34205.486	010.613
A.19	5547.711	-34201.994	010.634
A.20	5547.240	-34194.100	010.584
A.21	5532.461	-34200.428	011.067
A.22	5527.345	-34202.529	011.710
A.23	5534.029	-34196.004	013.334
A.24	5538.112	-34184.734	013.220
A.25	5555.002	-34188.983	013.360
A.26	5561.455	-34187.715	013.407
A.27	5526.382	-34199.228	013.368

第3図 高島藩主廟所全体図 (S=1/400)



第4図 調査トレンチ断面図 (S=1/40)

院や、廟所内の忠恒二女盛光院も採用している。

廟所は明治時代以降も諏訪家が所有していたが、昭和27年に諏訪市に寄贈された。その後、30年代から40年代にかけて廟所の東西両側が一般墓地として造成されている。昭和46年には諏訪市の有形文化財に指定され、今日に至っている。この間、指定に先立つ石造物調査や測量・配置図作成などが行われてきた（諏訪市教育委員会2000）。平成23年には地形・石造物の機械測量と、保存目的のための範囲内容確認発掘調査を実施して多くの成果を得ている（第1次、諏訪市教育委員会2013）。

今回の調査は未確認であった廟所西側の墓地部分についてである。当該地は昭和29年から31年にかけて諏訪市役所が一般墓地の造成を行っているが、それ以前は廟所の一部で参道や石灯籠があったと思われる。工事記録では工事以前の状況や工事内容の詳細が記されておらず、遺構の有無や墓地造成の状況を伺い知れなかった。そこで確認調査を実施することとなった。墓地は花崗岩や安山岩切石で区画された2.5m方形のものが87区画造られ、間を幅1.3mの砂利敷き通路が通っている。この通路部分の五・六・八代墓の参道延長上にあたる箇所にとレンチを設定し、人力により掘り下げを行った。

結果はいずれのトレンチにおいても石敷きや版築土・硬化面などは確認できず、表土（腐葉土・水成堆積土）と炭化物を含む黒色土、黄褐色土がみられた（第4図）。炭化物はごく薄い堆積で、焚火によるものと推定した。廟所内では二代や八代墓参道に石敷きがみられ、その他の藩主墓参道についても石敷きであったと考えられる。第1次調査での石敷きの確認面は地表から十数cmであるため、今回のトレンチの掘り下げ深度は十分な深さである。検土杖で確認したが、50cm以上石などにあたらないため、掘削底面以下に遺構がある可能性はないと判断した。

石造物片と思われる遺物が3点出土したが、廟所内の石造物と石材が異なり破損面が新しいことから、一般墓地に伴うものであると判断した。

今回調査を行った廟所西側については、一般墓地の造成工事によって遺構が破壊された可能性が高く、現在、近世の墓所遺構が残されているのは玉垣より東側であると言える。今後は文献・絵画資料などから往時の姿を探ることにしたい。

<参考文献>

茅野市教育委員会 1988 『茅野市の文化財』

諏訪市教育委員会 2000 『信州高島藩諏訪家廟所』

諏訪市教育委員会 2013 『高島藩主廟所 - 長野県諏訪市高島藩主廟所第1次発掘調査報告書 -』（2014年2版発行）

Ⅲ 大安寺遺跡（第14次）

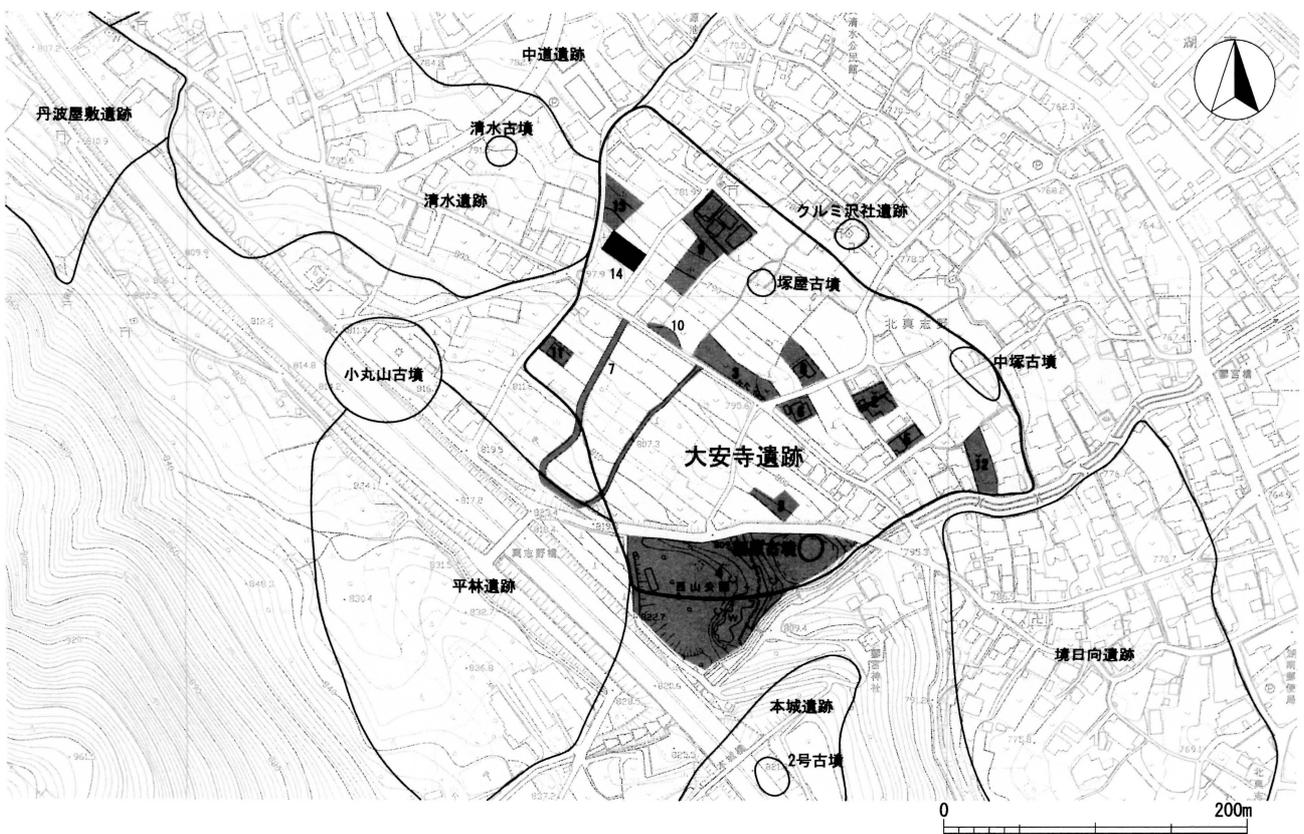
- | | | | |
|---------|----------------|---------|------------------|
| 1. 所在地 | 諏訪市豊田平林 3585-1 | 4. 調査目的 | 個人住宅建設に先立つ試掘確認調査 |
| 2. 調査期間 | 平成26年4月16日～17日 | 5. 検出遺構 | なし |
| 3. 調査面積 | 20㎡ | 6. 出土遺物 | 土器・石器（縄文・弥生・平安） |

7. 遺跡概要及び調査概要

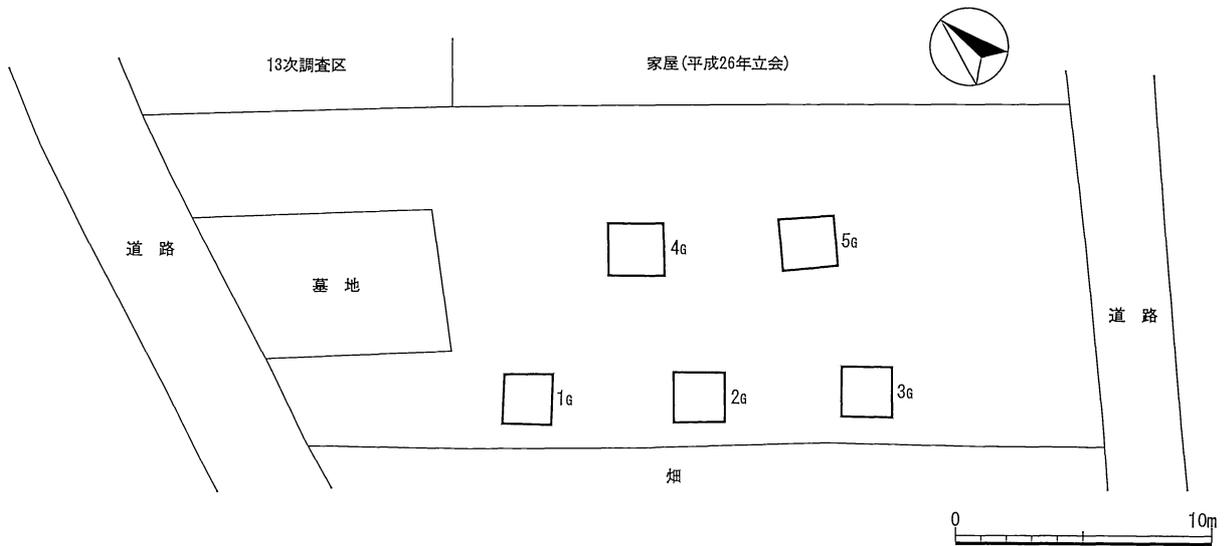
大安寺遺跡は諏訪湖南西の守屋山塊末端部に広がる集落遺跡である（第5図）。北東から東向きの緩斜面で、遺跡南側に流れる中ノ沢川が扇状地を形成している。遺跡の大部分は畑地であるが宅地化も進んできている。遺跡西側を走る中央自動車道の建設関連調査では目立った発見は無かったが、南隣接の本城遺跡や西側にある小丸山古墳では多くの遺構・遺物が出土している（日本道路公団名古屋建設局・長野県教育委員会1974、1975）。

過去13度の調査が実施され、縄文時代中期から後期、弥生時代後期の竪穴建物跡などが検出されている（諏訪市1995）。縄文時代後期の遺構・遺物が特に多く、「大安寺式」土器の標式遺跡となっている（藤森1951）。また、横穴式石室を有する後期古墳も点在している。遺跡名の「大安寺」は、中世寺院があった伝承からきているが定かでない（豊田地区公民館2011）。

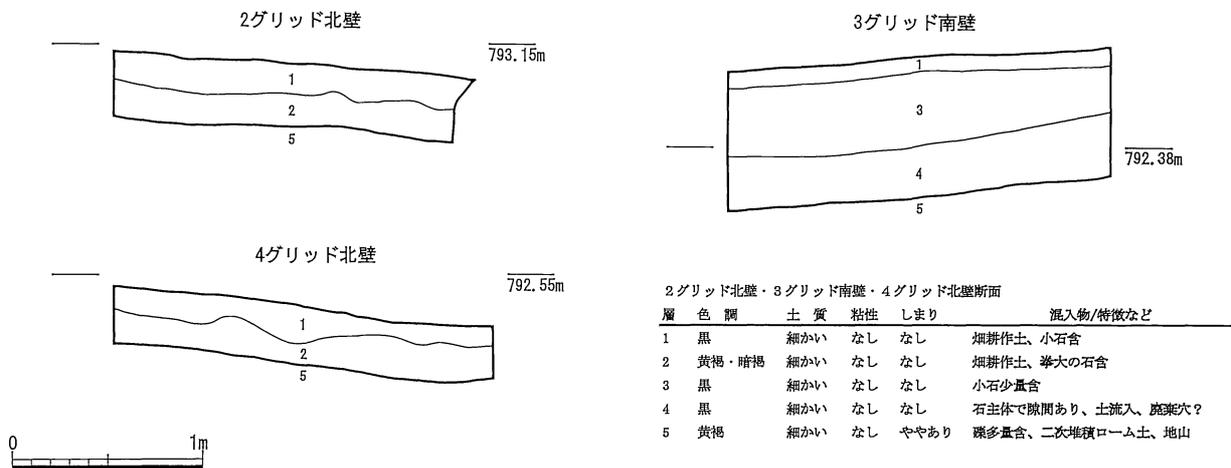
今回、遺跡範囲北の畑地について、個人住宅建設を行う計画があり、事前に試掘・確認調査を実施した。対象地内に2m×2mのグリッドを5箇所設定し、人力により掘り下げを行った（第6図）。調査地は第13次調査地の南隣接地で、北側の道路で清水遺跡と分かれる。



第5図 大安寺遺跡位置図 (S=1/5,000)



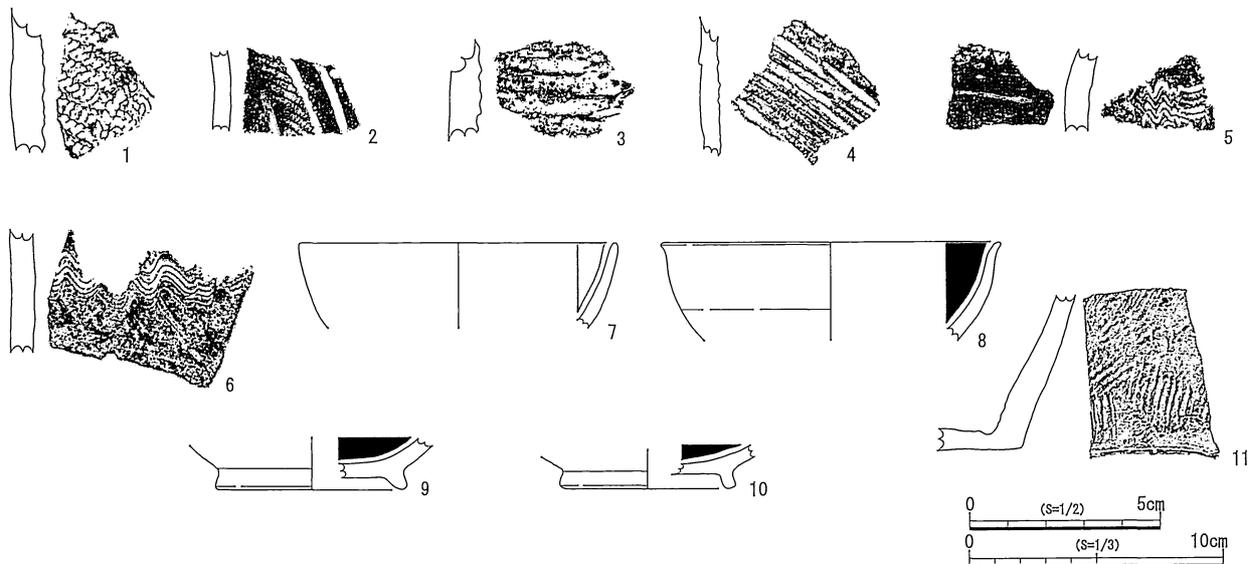
第6図 調査区位置図 (S=1/300)



第7図 調査グリッド断面図 (S=1/40)

調査の結果、畑の表土は十数 cmと薄く、すぐに地山と思われる礫・砂粒混じりのローム土に変わった(第7図)。畑耕作土から漸移土が無く変化することから、過去の土地造成により旧堆積土は削られていると推定される。ローム土は大小様々な岩礫を多量に含んでおり、二次堆積のローム土とみられる。3グリッドでは黒色土堆積が厚く、その中から石の集積が検出された。平面形は不整形で深さは約30~40cmである。グリッド外へと続いている。遺物は出土していないもの、石と石の隙間に空間があることから現代の石捨て穴や土地造成にかかわるものと考えた。

出土遺物はごくわずかで、表面採集によるものが半分近くを占める。縄文・弥生・平安時代の土器小片が出土した(第8図)。また、黒耀石剥片が表面採集されている。1は縄文時代中期、2は同後期。3・4が弥生時代中期前半の条痕文土器、砂粒と雲母を多量に含む。3は幅広で横方向に施文。4は細かい単位で斜めに引く。5・6が弥生時代後期前半。櫛描波状文を施文。5は内面に刺突文がみられる。7~10は平安時代の土師器坏で、内面黒色処理している。8は口縁端を外反させている。9・10は底部回転糸切り後、高台貼り付け。9はハの字に広がる。10は端部が方形。11は平安時代の須恵器甕。平底で外面は平行叩き整形する。



第8図 大安寺遺跡出土遺物 (S=1-6 が 1/2, 7-11 が 1/3)

第1表 大安寺遺跡出土遺物観察表

番号	時代	器種	法量 (cm)	整形・調整	焼成	残量・色調	胎土・特徴	出土位置
8図1	縄文中期	甕	口径 底径 器高 — — —	内面 ナデ 外面 縄文施文	良好	小片 内面 褐色 外面 暗黒褐色	緻密、砂・雲母多量含む	3G1・3層
8図2	縄文後期	甕	— — —	内面 ナデ 外面 縄文施文、沈線、ナデ消し	良好	小片 内外面 褐色	緻密、砂含む	表採
8図3	弥生中期	甕	— — —	外面 横方向に条痕文施文	良	小片 内外面 褐色	粗い、砂多量含む	表採
8図4	弥生中期	甕	— — —	内面 ナデ、輪積痕 外面 斜行条痕文施文	良	小片 内外面 褐色	粗い、砂多量含む	3G1・3層
8図5	弥生後期	甕	— — —	内面 刺突文、細かい横ナデ 外面 櫛描波状文	良好	小片 内外面 褐色、黒斑	緻密	表採
8図6	弥生後期	甕	— — —	内面 細かい横ナデ 外面 櫛描波状文	良好	小片 内面 赤褐色 外面 黒・暗灰色	緻密、細かな雲母含む	3G1・3層
8図7	平安	土師器 杯	(12.6) — —	ロクロ成形 内面 細かいミガキ、黒色処理	良好	口縁部小片 内面 暗灰色 外面 褐色	緻密、砂粒含む	4G1層/表採
8図8	平安	土師器 杯	(13.4) — —	ロクロ成形 内面 ミガキ、黒色処理	良好	口縁部小片 内面 褐色 外面 褐色	緻密、砂粒含む、口縁端を外反させる	3G1・3層
8図9	平安	土師器 高台杯	— (7.5) —	ロクロ成形 内面 ミガキ、黒色処理 外面 回転糸切り、高台貼付	良	底部小片 内面 黒色 外面 赤褐色	緻密、細かい砂粒含む、高台は外側にへの字に伸び尖る	3G1・3層
8図10	平安	土師器 高台杯	— (7.0) —	ロクロ成形 内面 ミガキ、黒色処理 外面 回転糸切り、高台貼付	良	底部小片 内面 黒色 外面 赤褐色	緻密、赤褐色粒含む、角高台がへの字に着く	表採
8図11	平安	須恵器 甕	— — —	内面 工具と指によるナデ 外面 平行叩き	良好 硬質	小片 内外面 灰色	緻密、白色粒多量含む、平底、内外面摩耗しているが二次利用か自然か不明	5G1層

弥生時代中期前半の条痕文土器と後期の櫛描波状文を有する土器は、隣接する第9次調査区や清水遺跡第3次調査区でも比較的多く出土している（諏訪市教育委員会 1990）。第9次調査では後期前半の竪穴建物跡が2棟検出されており関連する可能性もある。遺物は土層堆積と磨滅状態から流れ込みと推定されるものが多かったが、出土傾向は今までの調査成果を補強するものであった。

<参考文献>

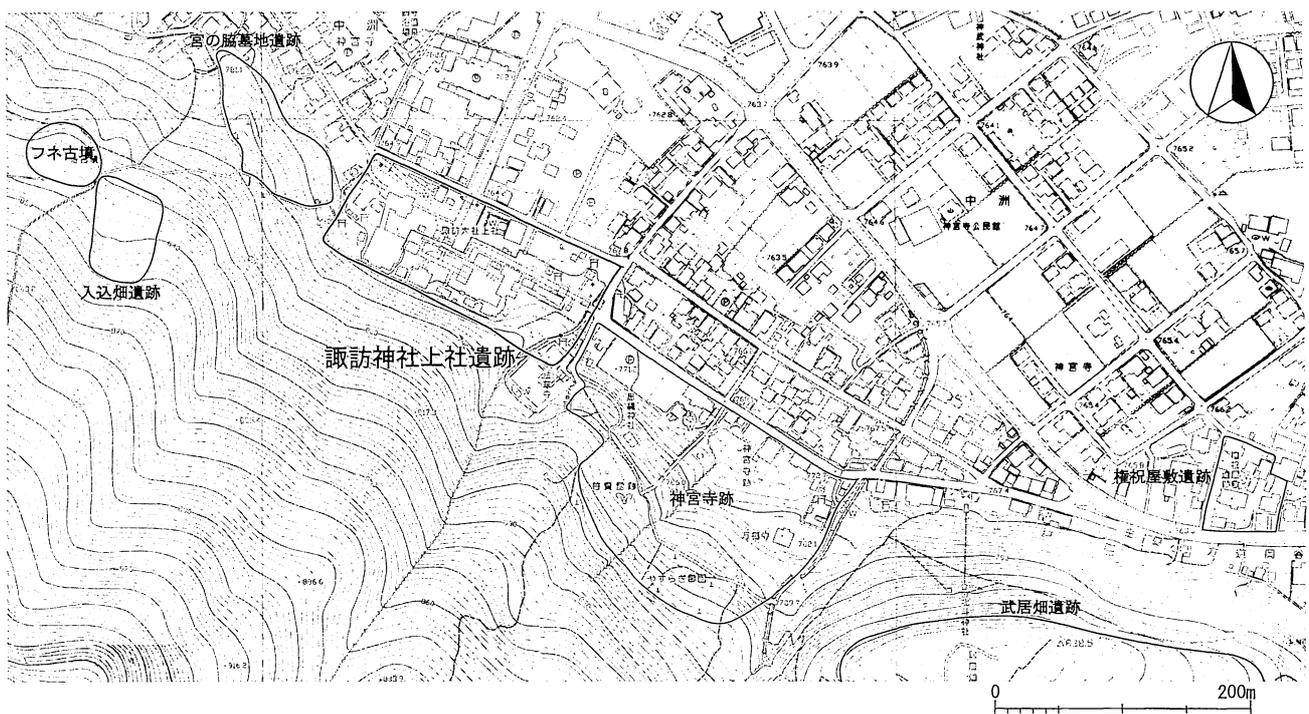
- 諏訪市 1995『諏訪市史』上巻
- 諏訪市教育委員会 1990『清水 I - 長野県諏訪市清水遺跡第3次発掘調査報告書 - 』
- 豊田地区公民館 2011『豊田村誌』上巻
- 日本道路公団名古屋建設局・長野県教育委員会 1974『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 - 諏訪市内その1・その2 - 昭和48年度』
- 日本道路公団名古屋建設局・長野県教育委員会 1975『長野県中央道埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書 - 諏訪市・その3 - 昭和49年度』
- 藤森栄一 1951『長野県諏訪郡大安寺遺跡』『日本考古学年報』

IV 諏訪神社上社遺跡（第7次）

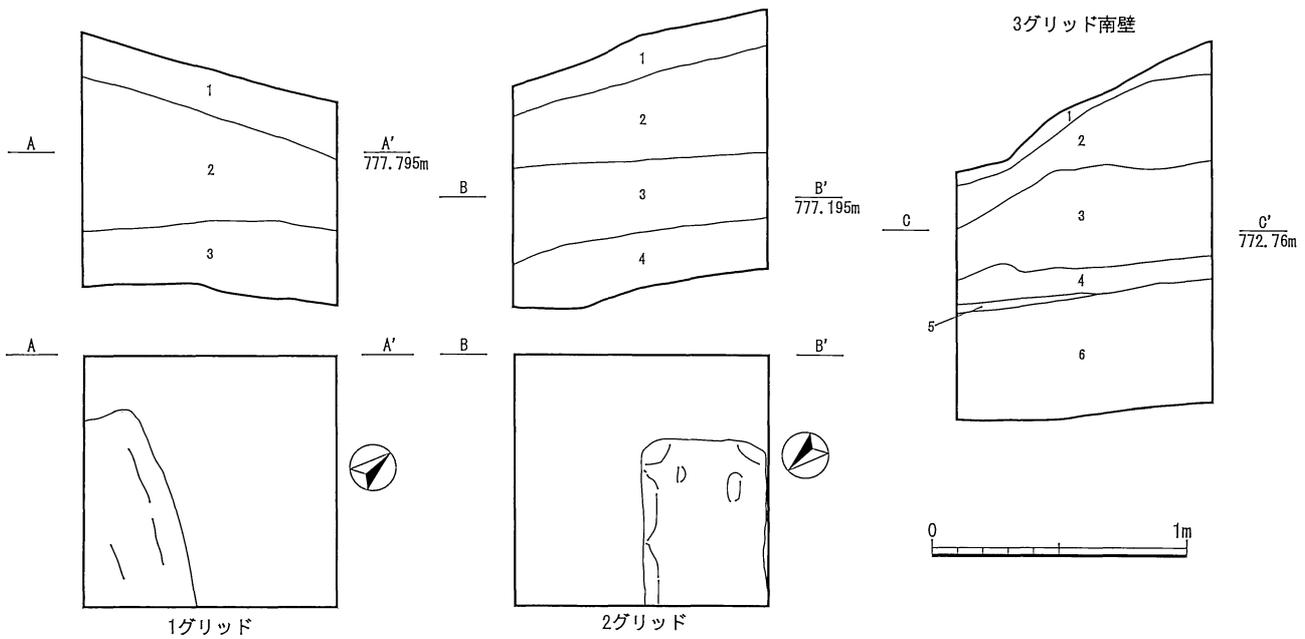
1. 所在地 諏訪市中洲宮山1
2. 調査期間 平成26年6月3日～4日
3. 調査面積 3㎡
4. 調査目的 防災設備設置に先立つ試掘確認調査
5. 検出遺構 なし
6. 出土遺物 カワラケ・陶器・磁器・銭貨（中世・近世・近代）
7. 遺跡概要及び調査概要

諏訪神社上社遺跡は全国の諏訪系神社の総本社、諏訪大社の上社本宮境内地である（第9図）。現在地に鎮座した年代について正確には分かっていないが、奈良時代にはすでに存在していたという。守屋山麓の末端に鎮座し、かつて諏訪湖がすぐ北側まで広がっていたことから北端には波除鳥居が現在も建つ。背後の神体山は長野県の天然記念物に指定されている貴重な樹叢である。境内は山麓端の傾斜地を造成して構成され、幣殿・四脚門などのある上壇、布橋・勅使殿などのある中壇、神楽殿・社務所などのある下壇の3つに分けられる（第10図、諏訪大社2012）。これまで6次の発掘調査が実施されて、遺物は境内全域から中世のカワラケや中・近世の陶磁器が出土しているが、建物などの明確な遺構は検出されていない。

諏訪大社上社本宮では、平成24年度より国重要文化財に指定されている幣殿・拝殿（以下、幣拝殿と略す）・右片拝殿・左片拝殿・脇片拝殿・四脚門の保存修理工事を実施している。同工事は屋根の葺き替えを中心に実施しているが、これに合わせて既存の防災設備の更新と、防火防犯体制の充実を図るための設備増設（放水銃・熱検知器など）が計画された。前述のとおり、境内全体が包蔵地指定されていることから、工事内容について関係者との協議を実施し、建造物保護のために工事はやむを得ないながら、遺構などへの影響を考慮して最小限の掘削に留めながら工事を行うこととした。掘削は境内の広範囲におよぶが、なかでも幣拝殿裏の機器設置予定地についてはこれまでに発掘調査を実施



第9図 諏訪神社上社遺跡位置図（S=1/6,000）



1グリッド北壁断面					3グリッド南壁断面							
層	色	質	粘性	しまり	混入物/特徴など	層	色	質	粘性	しまり	混入物/特徴など	
1	黒褐	細かい	ややあり	なし	表土、腐葉土と植物根	1	黒褐	細かい	なし	なし	表土、腐葉土と植物根	
2	暗褐	細かい	なし	なし	礫多量含、3層より黄褐色味強い、粒状石少量含	2	暗褐	細かい	なし	なし	大小様々な礫多量含	
3	暗褐	細かい	なし	なし	礫多量含、サラサラした土、下部でわずかに黒褐色土	3	暗褐	細・粗混	なし	ややあり	礫・小石多量含、小砂利含みジャリジャリする	
2グリッド南壁断面												
層	色	質	粘性	しまり	混入物/特徴など	4	暗赤褐	細かい	なし	なし	ややあり	小砂利含まない、サラサラとした細かな土
1	黒褐	細かい	ややあり	なし	表土、腐葉土と植物根	5	暗赤褐	細かい	なし	ややあり	薄い層状に堆積、細かなローム粒含	
2	暗褐	細かい	なし	なし	大小様々な礫多量含、遺物小片ばかり、細かな山土	6	暗褐	細かい	なし	なし	石・炭を少量含、カワラケ・鉄炭出土	
3	暗褐・淡赤褐	細かい	なし	なし	大小様々な礫多量含、上下の層との境は平坦							
4	暗褐	細かい	なし	なし	土は2層に似るが大きめの礫主体、サラサラの山土							

第11図 調査グリッド遺構図 (S=1/30)

したことの無い場所であり、地下の状況が不明であったため、事前に試掘調査を行うことになった。それ以外の場所は掘削が狭小で既存設備の埋設時に調査した部分を含んでいることなどから工事立会いを実施した。工事立会いの結果も合わせて本書で報告したい。

幣拝殿裏は神居と呼ばれ、江戸時代末までは石製宝塔（お鉄塔）が安置されていた。この場所は三方向を透塀（木製板塀）によって区画されており、その外側は神苑と呼ばれている。調査地はこの神苑の透塀沿いである。神苑はさらに外側を大きく囲う石製玉垣によって外側と区画されている。現在は林になっており神社関係者も日常立ち入ることがないところであるという。ただ、近世の絵画資料では幣拝殿裏に建造物が描かれている。実際、小さな平場がいくつかみられ、第10図でも等高線の間隔が緩くなる所があることが分かる。

試掘グリッドは機器設置の位置に1m×1mで3箇所設け、人力で掘削を行った。各グリッドとも礫を多く含む褐色土を主体としていた（第11図）。建造物などの遺構は検出されなかったが、地表は傾斜地であるにもかかわらず、堆積土は水平に近い層が複数層重なっていた。また、各層からカワラケなどの遺物が出土することから、自然堆積ではなく土地造成のような人為的な堆積であると考えられる。盛土による平場造成が推定される。2グリッドでは平坦面を上にする石が4層内で出土した。明確な加工痕跡はなく、4層内に収まって石の下部で堆積土に変化が無いことから、少なくとも建造物の礎石として原位置にあるとは判断できなかった。遺物を含む造成土層はさらに続くとみられたが、工事による掘削深度以下については掘り下げを行わず、調査を終了した。その後の工事立成いは7月29日から10月20日まで断続的に実施し、堆積土層の確認と遺物出土があった場合には採集した。

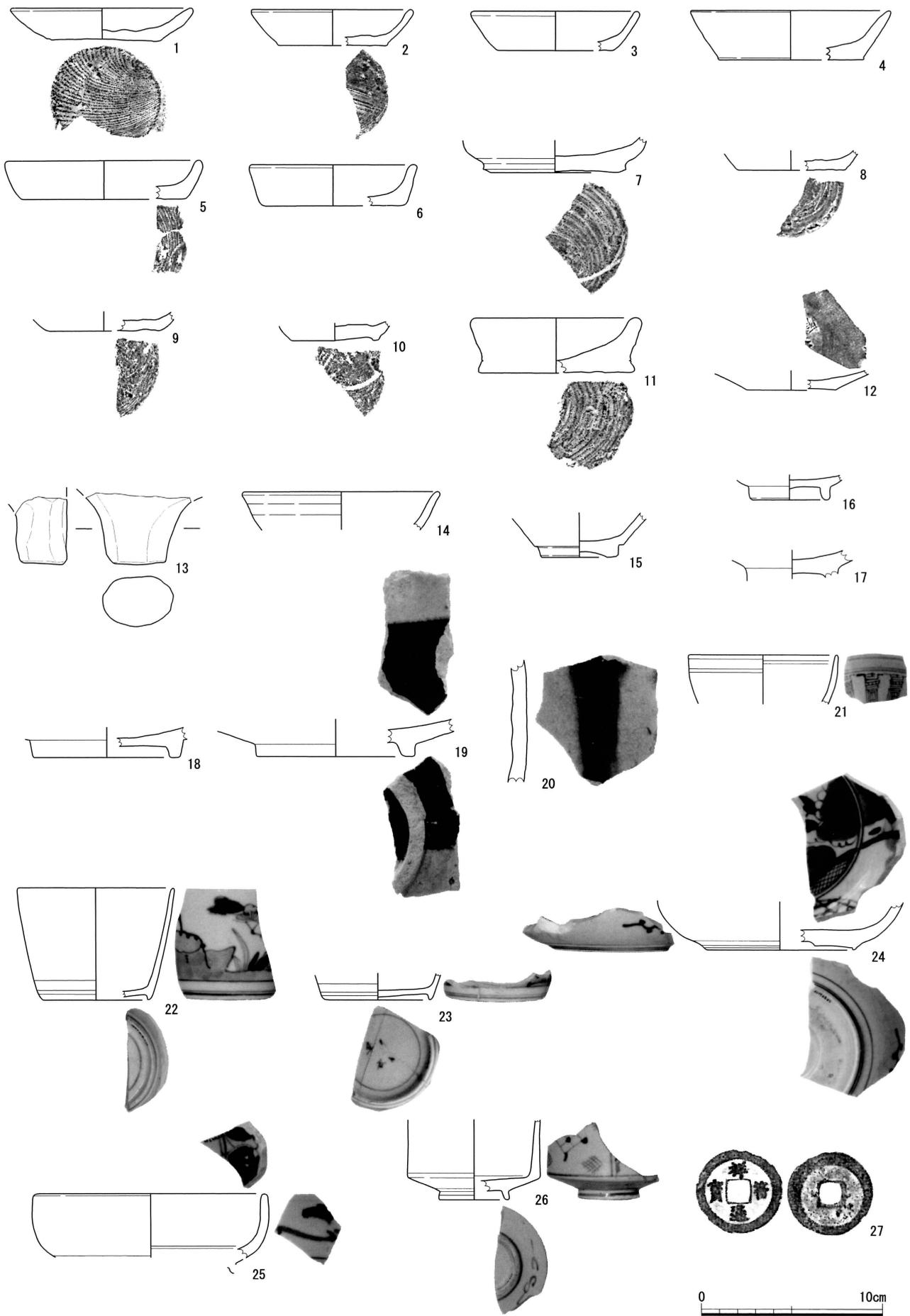
遺物は試掘調査および工事立会い時に出土した（第12図）。1～10・13～15が中世、11・12・16～26は近世の遺物で、ほかに宋銭1点を掲載した。中世に比定される遺物は全て神苑より出土している。

1～10は中世のカワラケである。いずれも平底、ロクロ成形であるが、器形や胎土・焼成は細かく異なる。1は底部静止糸切りで体部が開く。口縁端はやや尖る。底部内面は渦巻き状に指押さえしている。2・3は黒色に変色し油煙が付着、灯明に使用されたとみられる。器厚は薄く、底部は回転糸切りとヘラ整形。黒色であるのは灯明行為による変色と、製品焼成時にわざと黒色（燻し焼き）に仕上げている可能性もある。4は厚ぼったく焼成があまい。口縁端が尖る。5・6は体部の開きが少なく立ち上る。焼成があまい。7は底部のみ依存、切り離し位置が低いため粘土柱を残す。8は腰が鋭角で器厚が薄い。9・10は体部がわずかに立ちあがってすぐに口縁となる器形のカワラケ。いわゆる「板状カワラケ」である。11は近世に属するとみられる。器厚が厚く、内面は明確な見込みをもたずに底部から体部に湾曲していく。切り離し位置を一度かえて、より下位で切り離した痕が残る。12は底部内面に型押陽刻文をもつ。破損しており内容が定かでないが、文字と文様とみられる。江戸時代後期と推定。第1次調査で梶の葉文の型押カワラケが出土しており、同様のものとみられる（諏訪市教育委員会1987）。13は火鉢または鍋の脚部とみられる。指ナデ整形。市内で出土する内耳鍋の胎土と類似し、多量の砂粒と、細かな雲母も含む。14は灰釉陶器丸皿の口縁小片。瀬戸窯産、大窯期後半の製品と思われる。15は天目茶碗の底部。削り出し内反り高台。内面は漆黒鉄釉、外面は濃灰色釉が掛る。16・17は灰釉陶器で底部のみである。法量・高台形は異なる。18・19は鉢の底部。18は高台部は無釉、内面が茶褐色鉄釉がかかる。19は縦方向に灰釉と鉄釉に掛け分けされる。20は甕または壺の体部片、灰釉地に緑釉を掛け流す。

21～26は江戸時代後期の磁器。21は肥前伊万里窯産磁器。外面に寿文と圏線、内面は口縁端に二重圏線を巡らす。22・23は同一個体とみられる肥前窯産の猪口。外面には草木花文、内面と底部外面には圏線。焼き継ぎ修理している。23底部に「大明年製」と印す。文字を認識して書いていないような字である。24は肥前窯産磁器の染付小皿。外面に唐草文、内面に草花文、底部は蛇の目高台。25は肥前窯産の染付碗（または小皿）。外面に唐草文、内面に草花文。26は瀬戸美濃窯産磁器の箱形湯呑碗。内面見込みに圏線、外面は方形区画内に井桁文。27は北宋銭「祥符通寶」。6層内から出土。同層からカワラケも出土している。初鑄は祥符2（1009）年。刻印は明瞭。近隣では茅野市荒玉社周辺遺跡から出土がある（茅野市教育委員会2006）。

神苑からはカワラケを主体として天目茶碗・宋銭が出土し、時代は中世（戦国期が目立つ）でまとまっていた。近世以前の当該地について文献資料などで詳しいものはないが、なんらかの建造物や土地利用があったであろう。下壇は江戸時代後期の陶器・磁器が出土し、肥前窯・瀬戸美濃窯の製品で占められていた。場所によって出土する遺物の時期や種類に傾向がでる可能性がある。市内では高島城周辺の城下町遺跡以外ではまとまった出土例がなく、貴重な成果を得ることができたといえる。

今回調査した場所は神居から透塀を隔てた外側の神苑である。透塀沿いは急傾斜地であるが、東に平坦地がある。現在は草木が生い茂っているが、絵画資料では、『諏訪大社上社古図』（江戸初期）に塀沿いに「如法堂」と注記された建物が描かれている。『諏訪藩一村限村絵図』（享保18年）のうち『神宮寺村絵図』と、『上宮諏方大明神本社絵図』（寛政4年）には「経堂」が描かれている。「如法堂」と「経堂」が同一建造物をさしているか定かではないが、3グリッド東側の平場には上記のような建造物が推定される。1・2グリッド周囲は緩斜面が続いており明確な平場はない。斜面上方に広い平坦地があり、『神宮寺村絵図』と『上宮諏方大明神本社絵図』にある「不明門」はそのあたりであろう。



第 12 図 諏訪神社上社遺跡出土遺物 (S=1/3、27 は 2/3)

第2表 諏訪神社上社遺跡出土遺物観察表

番号	時代	器種	法量(cm)	整形・調整	焼成	残量・色調	胎土・特徴	出土位置
12図1	中世	カワラケ	口径 底径 器高 10.1 6.3 1.9	ロクロ整形 底部 静止糸切り	良好	1/2残存 褐色	緻密、霰母・石英含む、内面底部渦巻き状の指押さえ、丁寧な作り	立会8.21No.4
12図2	中世	カワラケ	(9.0) (6.1) 2.0	ロクロ整形 底部 回転糸切り、板状圧痕	良好	1/3残存 黒色・暗黒灰色	緻密、砂粒・雲母含む、内面に油煙・煤付着、灯明に使用、黒色仕上げ製品?、底部外面糸切り痕の上に板目のような痕跡	2G3層
12図3	中世	カワラケ	(9.4) (6.4) 2.2	ロクロ整形 底部 回転糸切り	良好	1/8残存 黒色	緻密、全体に油煙付着、灯明に使用、黒色仕上げ製品?、2とは別個体	1G2層
12図4	中世	カワラケ	(11.0) (8.0) 2.75	ロクロ整形 底部 ナデ調整	やや不良	1/6残存 淡赤褐色	緻密、体部への字に開く、口縁端尖らせる、焼成あまい	3G6層
12図()	中世	カワラケ	(11.0) (9.1) 2.2	ロクロ整形 底部 回転糸切り	不良	1/10残存 淡赤褐色	緻密、器厚厚い、焼成あまい	立会8.21No.1
12図()	中世	カワラケ	(9.4) (8.0) 2.8	ロクロ整形 底部 回転糸切り	不良	1/10残存 赤褐色	緻密、砂粒・赤色粒含む、焼成あまい	立会8.21No.1
12図7	中世	カワラケ	— (7.9) —	ロクロ整形 底部 回転糸切り	不良	底部1/4残存 淡赤褐色	緻密、砂粒・赤色粒含む、焼成あまい、大ぶりで器厚厚い、切り離し位置低く粘土粒残る	立会8.21No.1
12図8	中世	カワラケ	— (6.0) —	ロクロ整形 底部 回転糸切り	良	1/10残存 赤褐色	緻密、赤色粒・砂粒含む、器厚薄い	2G3層
12図9	中世	カワラケ	— (6.2) —	底部 回転糸切り 底部内面 横方向指ナデ	やや不良	1/10残存 赤褐色	緻密、赤色粒・砂粒含む、器厚薄い	2G2層
12図10	中世	カワラケ	— (4.9) —	底部 回転糸切り 底部内面 中央指ナデ押さえ	不良	1/8残存 明褐色	緻密、砂粒含む、立ち上り短いカワラケ	3G4層
12図11	近世	カワラケ	(9.5) (8.6) 3.1	ロクロ整形 底部 回転糸切り	不良	1/3残存 淡赤褐色	緻密、赤色粒含む、器厚厚い、体部下端に糸切り未遂痕、内面明確な見込み持たない	立会8.21No.2
12図12	近世	カワラケ	— (4.9) —	ロクロ整形 底部 回転糸切り	良好	1/5残存 褐色	緻密、器厚薄い、体部大きく開く、底部内面に型押し陽刻文	立会10.15
12図13	中世	火鉢・鍋	脚高5.0	手捏ね成形、指ナデ整形	良	脚部のみ 褐色	粗い、砂粒多量含む、断面楕円形、胎土は内耳輪と類似、三足または四足	3G6層
12図14	中世	灰釉陶器 小皿	(11.0) — —	ロクロ整形 内面～口縁に施釉	良	小片 白色・淡褐色～淡緑黄色	緻密、口縁わずかに外反、瀬戸大窯産の灰釉丸小皿、16C	立会8.22
12図15	中世	陶器 天目埴	— 高台径4.3 —	ロクロ整形 内面 鉄釉 外面 鉄釉、削り出し高台	良好	底部片 内面 黒色 外面 濃灰色	緻密、外面の施釉は高台内側まで錆鉄化掛掛、16C	2G2層
12図16	近世	灰釉陶器 埴	— 高台径4.5 —	内外面 施釉	良好	底部片 淡緑色	緻密、灰釉表面貫入、高台丸くわずかに外反、施釉は高台端以外に掛る、瀬戸美濃窯産	立会8.1
12図17	近世	灰釉陶器 埴	— (5.2) —	内外面 施釉	良好	底部片 淡緑色釉	緻密、灰釉表面貫入、高台破損、瀬戸美濃窯産、22より法量大きい	立会8.1
12図18	近世	陶器 鉢	— 高台径8.2 —	内面 施釉 外面 底部回転削り、 削り出し高台	良好	底部1/2残存 内面 赤茶褐色・黒色 外面 淡褐色	緻密、削り出し角高台、内面ビン痕	立会7.31
12図19	近世	陶器 鉢	— 高台径8.8 —	内外面 施釉 高台貼付	良好	底部1/10残存 赤茶褐色・白色	緻密、砂粒含む、内外面とも鉄釉と灰釉を掛け分、高台端のみ無釉	立会8.4
12図20	近世	陶器 壺	— — —	ロクロ整形 内外面 施釉	良好	体部小片 内面 淡緑黄色 外面 淡緑黄色・緑色	緻密、内面ロクロ目顕著、緑釉掛け流し	立会9.26
12図21	近世	磁器 碗	(8.3) — —	内外面 染付	良好	口縁小片 素地 淡灰色 文様 濃青色	緻密、口縁内面に二重線、外面寿繁文、肥前窯産(古伊万里)、18C	立会8.6
12図22	近世	磁器 猪口	(8.8) (5.8) 6.3	外面 染付	良好	1/5残存 素地 白色 文様 濃・淡青色	緻密、体部外面に草木文、底部外面に圏線、肥前窯産、23と同一個体、18C	立会7.29
12図23	近世	磁器 猪口	— (5.8) —	外面 染付	良好	底部2/3残存 素地 白色 文様 青色	緻密、底部外面に圏線、「大明年製」銘、焼き継ぎ修復痕、肥前窯産、22と同一個体、18C	立会7.30
12図24	近世	磁器 丸皿	— 高台径8.1 —	内外面 染付 蛇の目高台	良好	1/10残存素地 白色 文様 濃青・淡青	緻密、外面唐草文、内面草花文・斜格子文、肥前窯産、18C後半	立会8.5
12図25	近世	磁器 丸皿	(13.0) — —	内外面 染付	良好	小片 素地 淡灰白色 文様 青～濃青色	緻密、口縁垂直に立ち上る、外面唐草文、内面花文、肥前窯産、18C後半	立会7.30
12図26	近世	磁器 箱形碗	— (7.4) — 高台径3.9	内外面 染付	良好	1/3残存 素地 濁る白色 文様 濃青色	緻密、腰が角張る、外面区画文・斜格子文、内面みに圏線、瀬戸美濃窯産	立会7.29
12図27	中世	銅銭 祥符通寶	縦2.4 横2.35	鋳造		略完形 表裏面 青緑色	表面「祥符通寶」、裏面無文、祥符2年(1009)初鋳、北宋銭	3G6層

一方、境内下壇の掘削工事立会いでは近世から近代にかけての陶器・磁器が出土した。とくに、社務所下から神楽殿前までに多くみられた。ただし、これらの掘削は既埋設管上やそのすぐ脇であり、堆積土は複数回にわたり掘り返されていたため、近世の遺構として考えられる状態ではなかった。下壇では地表下1.5m程度に炭化物を含む黒灰色層があり、中世カワラケが出土している(諏訪市教育委員会1987)。今回の工事ではその深さまで掘削は及んでいないため、遺構は下層に埋蔵されていると思われる。狭小な調査と工事であったが、境内の広範囲にわたって堆積土層と遺物の出土傾向を把握することができたことは成果であった。カワラケなどを近隣の出土資料と比較するなど、さらに検討をしたい。

<参考文献>

- 諏訪市教育委員会 1987 『諏訪神社上社遺跡 - 長野県諏訪市諏訪神社上社遺跡発掘調査報告書 - 』
 茅野市教育委員会 2006 『荒玉社周辺遺跡 - 平成13年度～平成17年度茅野市安国寺姫宮土地区画整理事業に伴う緊急発掘調査報告書 - 』
 諏訪大社 2012 『信濃國一之宮 諏訪大社上社本宮 建造物調査報告書』

V ジャコッパラNo.22遺跡（第2次）

1. 所在地 諏訪市四賀霧ヶ峰 7719-186 他
2. 調査期間 平成 26 年 11 月 4 日～ 20 日
3. 調査面積 84 m²
4. 調査目的 太陽光発電施設建設に係る試掘調査
5. 検出遺構 石器集中出土地点・小竪穴
6. 出土遺物 黒耀石石器（旧石器）

7. 遺跡概要及び調査概要

ジャコッパラ遺跡群は霧ヶ峰高原南麓の標高約 1,300～1,600mに分布する 23 箇所の遺跡の総称で、旧石器時代から縄文時代を主体とする（第 13 図）。なだらかな高原地帯で、桧沢川と横河川などが解析した谷に挟まれた痩せ尾根上台地に点在し、平成 3～10 年度に行われた黒耀石原産地遺跡分布調査によって把握された（諏訪市教育委員会 1999）。河川は茅野市に流入しており、桧沢川は国史跡駒形遺跡のある扇状地へ、横河川は国宝土偶が出土した棚畑遺跡のある扇状地に出て上川に合流する。遺跡群北側の国天然記念物「霧ヶ峰湿原植物群落」踊場湿原の周囲には池のくるみ遺跡群がある。ジャコッパラ遺跡群と池のくるみ遺跡群は地形的に異なっているものの隣接しており年代的にも近いと思われる遺跡があることから、両者は一括して考えられるという（高見 1995）。

ジャコッパラNo.22 遺跡は遺跡群の最南端に位置し、最も標高が低い遺跡である。1997 年の分布調査において新たに発見された遺跡である（諏訪市教育委員会 1998）。縄文時代早期の押型文土器と黒耀石石器が出土し、集石炉が検出された。南北約 400m、東西約 500mが包蔵地範囲となっている。遺跡内は谷から湿地に至る西側部分と、東側の尾根上平坦地および緩傾斜地からなる。

今回、大規模太陽光発電施設の建設計画があり、事前に遺構分布確認のため試掘調査を行った。調査グリッドは尾根上を中心に左右の斜面に広がるように設定した（第 14 図）。対象範囲は第 1 次調査と重なるが、グリッド設定位置は重ならない所になるよう設定した。西側の湿地は計画外であったため調査対象としていない。調査地について、東西北の三方向は農場として開墾されているが、遺跡を含めた南側は森林である。大部分は松林で、膝丈ほどの熊笹や人文のススキが生い茂っている。尾根先端の長さ 120m、幅 30mは模型飛行機の滑走路として芝が貼られ整備されている。2m×2mの試掘グリッドを 21 箇所設定し、人力により掘り下げを行った。いずれのグリッドも堆積土層は同様に、20 グリッドでは表土下約 30～40cmに含有物の無いきれいな黒色土がみられ、徐々に暗褐色土に漸移し、60cmほどでソフトローム土に変化する（第 15 図）。水分を含み粘性が強い。80～95cmでハードローム土に達する。各グリッドで堆積の厚さは異なるが、石などは含まずきれいな自然堆積がみられた。

調査地の大部分は遺構・遺物とも検出されなかったが、7 グリッドで黒耀石剥片がわずかに出土した。そのため、周辺に 3 箇所追加でグリッドを設けて掘り下げを行い、20・21 グリッドで同様に黒耀石片が出土した。また、周囲で黒耀石片が表面採集された。19 グリッドでは出土しなかったため、石器集中出土地点の範囲はおおよそ南北 11m、東西 17mと推定される。また、21 グリッドでは小竪穴 1 基を検出した。円形で斜めに掘り込み、深さ 50cm。埋土は黒色土にローム粒が混ざる。遺物が出土しておらず、時代の断定はできないが、縄文時代以降であると思われる。

遺跡の保護については、調査結果を受けて事業者と協議を行い、遺構検出の周辺は金属パイプ打込みによる基礎施工方法にすることとし、記録保存調査は行わず工事立会いとすることとした。

出土遺物は全て黒耀石で、剥片が 13 点、小原石 1 点である。出土層はソフトローム土から漸移土・黒色土の下層で、土器など他の遺物を含まないことから旧石器時代と考える。黒耀石は不純物を含まず透明度が高い黒色のものと、大きめの球彫を含み縞状に線が入る表皮をもつものがある。定形的石器は出土していない。第 16 図は 20 グリッド出土のナイフ形石器の素材となる縦長剥片で、背面には主要剥離面と同一方向の連続する剥離がみられ、左側辺中央に連続する微細な剥離がみられる。ほかの剥片は小片が目立った特徴がみられない（写真図版 9 下段）。13 グリッドのソフトローム土上面で直径 1cm に満たない粒状の小原石が 1 点出土した（写真図版 9 下段 12）。同様の小原石はジャコッパラ No.15 遺跡や強清水遺跡で出土している。年代については上述の縦長剥片から考えたい。大きめの剥片であり、石刃技法がみられるが整ってはいない。類似した剥片は上ノ平遺跡第 4 次調査の第 I b 層～第 II 文化層にみられ（諏訪市教育委員会 1996）、長和町追分遺跡群の第 4 文化層（長門町教育委員会 2001）、茅野市上見遺跡（茅野市教育委員会 1991）から出土している。後期旧石器時代でもナイフ形石器を中心とする古手のものと考えられる。おおよそ A T 火山灰降下後のころとみられる。

出土した黒耀石 14 点について産地推定のため、静岡県沼津市文化財センターの池谷信之氏に蛍光 X 線分析を依頼した。結果の詳細については後述に譲るが、今回出土した黒耀石で判別できたものは全て諏訪星ヶ台産に属するという結果であった。遺跡から最も近い原産地地域であり、妥当な結果といえる。不純物を含まず透明度が高いものと、球彫を含み白色縞が表皮に入るものの 2 種があるが、同様の特徴は星ヶ台 A・B・C 各遺跡や星ヶ塔遺跡など複数地点でみられ（下諏訪町教育委員会 2008）、現時点でさらなる絞り込みは難しい。肉眼観察と理化学分析の両方によって産地推定の精度を高めていきたい。

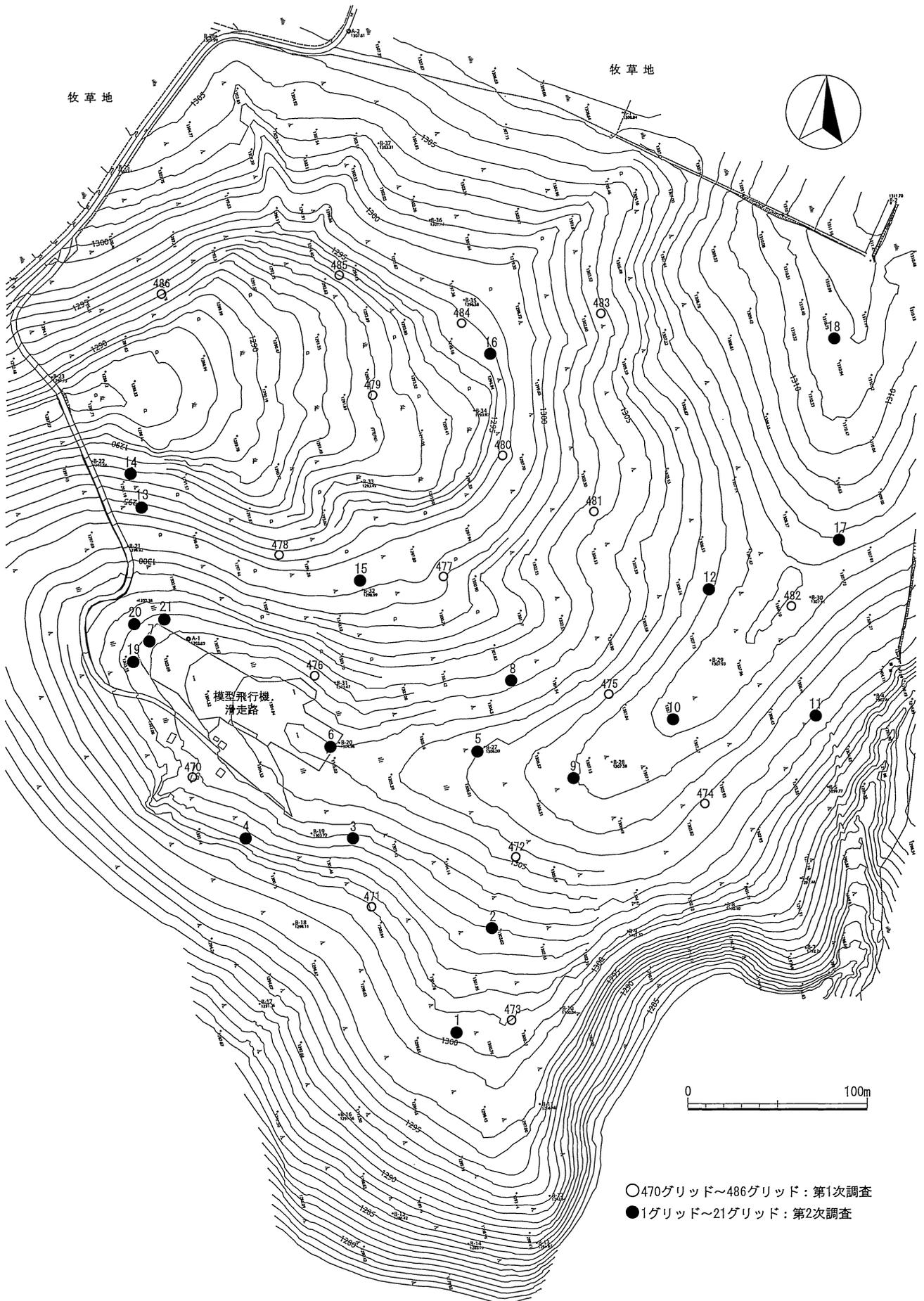
No.22 遺跡はこれまで縄文時代の遺跡として登録されていたが、今回新たに旧石器時代の存在を確認できた。遺構の全体を捉えたわけではないが、出土遺物の点数が少ないことから原産地直下の石器大量製作遺跡のような性格ではないと思われる。短期の石器製作か一時的な滞在地であろう。

産地推定では No.22 遺跡とは別に、No.1 から No.23 遺跡の過去の調査で出土した旧石器時代の黒耀石遺物についても蛍光 X 線分析を行った（報告書掲載遺物に限る）。比較資料として結果のみ掲載するが、諏訪星ヶ台群と和田鷹山群のほかに、八ヶ岳冷山の黒耀石が定量あることがわかった。田中総はジャコッパラ遺跡群について「黒耀石運搬の中継地と加工場としての役割を果たしていた」と評価しているが（田中 2002）、近くの前産地とともに、離れた前産地の黒耀石についても中継・加工する役割があったということであろうか。遺跡個々の時代や性格、また、全体としての関連の有無や前産地との関係について改めて検討する必要がある。また、今後の調査にあたって、より広い視野をもってあたりたい。

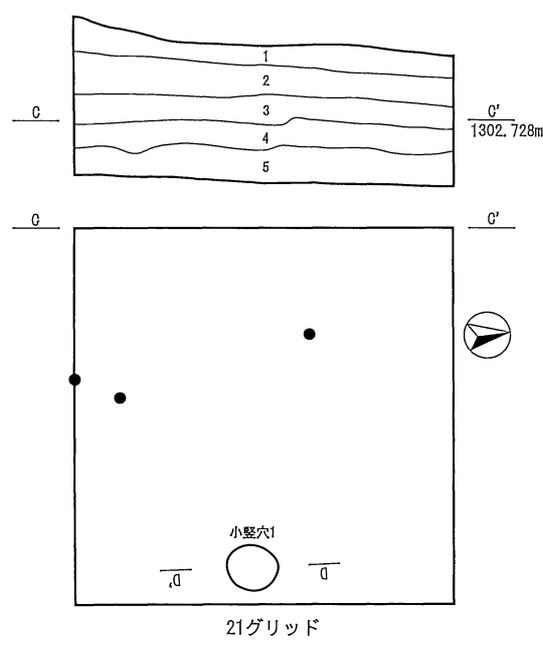
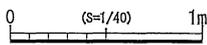
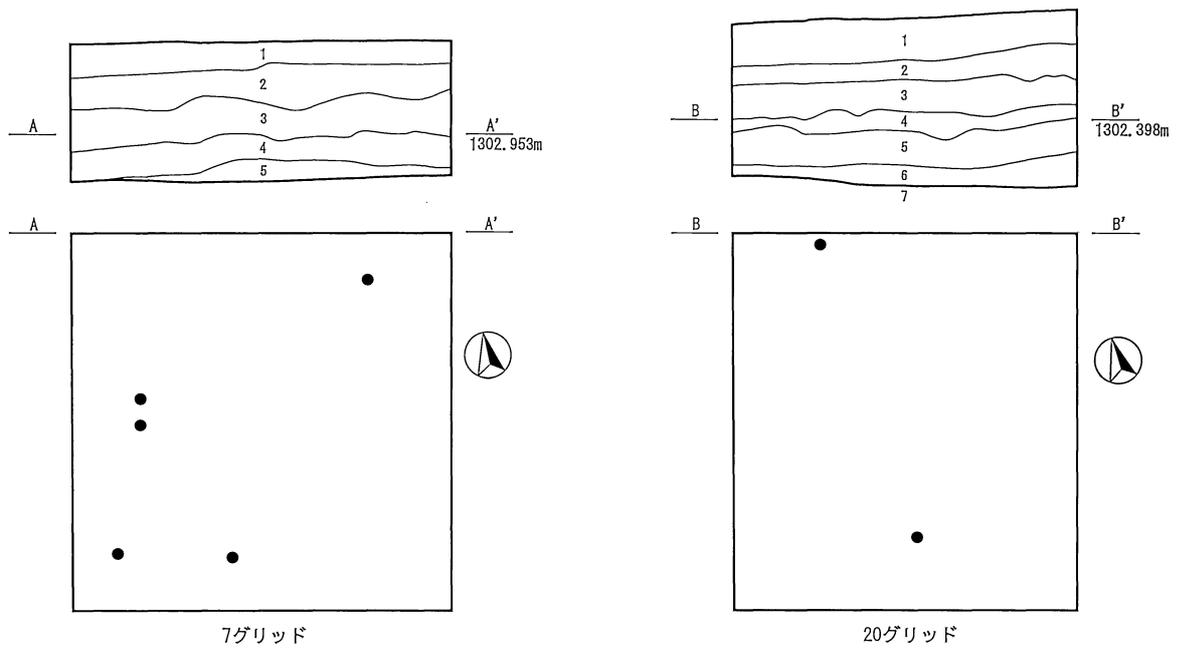
ジャコッパラ遺跡群を含む霧ヶ峰高原は国内屈指の黒耀石原産地地域であるが、その多くの土地は未調査で遺跡の全容は把握されていない。遺跡の把握と保護に努めたい。

<参考文献>

- 下諏訪町教育委員会 2008 『黒耀石原産地遺跡分布調査報告書Ⅱ - 星ヶ塔遺跡 - 』
- 諏訪市教育委員会 1996 『上ノ平Ⅱ - 長野県諏訪市上ノ平遺跡第 4 次調査概要報告書 - 』
- 諏訪市教育委員会 1998 『ジャコッパラⅨ - 平成 9 年度長野県黒耀石原産地遺跡分布調査概要 - 』
- 諏訪市教育委員会 1999 『ジャコッパラ遺跡群』
- 高見俊樹 1995 「第一章 旧石器時代の諏訪」『諏訪市史』上巻 諏訪市
- 田中総 2002 「黒耀石原産地周辺の遺跡群 - 霧ヶ峰・ジャコッパラ遺跡群について - 」『黒耀石文化研究』創刊号 明治大学人文科学研究所
- 茅野市教育委員会 1991 『上見遺跡 - 県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 - 』
- 長和町教育委員会 2001 『県道男倉長門線改良工事に伴う発掘調査報告書 - 鷹山遺跡群第 I 遺跡および追分遺跡群発掘調査 - 』



第14図 調査区位置図 (S=1/3,000)

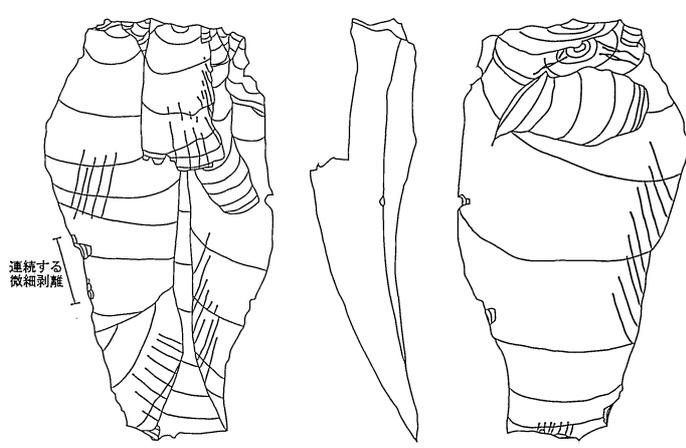


7グリッド北壁・20グリッド北壁・21グリッド西壁断面

層	色調	土質	粘性	しまり	混入物/特徴など
1	黒	細かい	なし	なし	表土、草根主体
2	黒	細かい	ややあり	なし	やわらかな黒土
3	黒暗灰	細かい	ややあり	ややあり	しまる、やや灰色がかる
4	黒暗灰・暗褐	細かい	ややあり	ややあり	ローム漸移土、ロームブロック含、動植物かく乱あり
5	黄褐	細かい	ややあり	ややあり	ソフトローム土、動植物かく乱あり
6	黄褐	細かい	あり	あり	ソフトローム土、かく乱なし、水分多く粘り強い
7	黄褐	細かい	あり	あり	砂粒含、水分含むが固くしまる、ハードローム上面

小竪穴1断面

層	色調	土質	粘性	しまり	混入物/特徴など
1	黒・黄褐	細かい	あり	なし	黒土とローム土が混ざる
2	黒・黄褐	細かい	あり	ややあり	黒土にローム粒が混ざる、1層よりしまる
3	暗黒灰	細かい	あり	ややあり	ローム粒含まない



第15図 調査グリッド遺構図

第16図 ジャコッパラNo.2 2遺跡出土石器 (S=1/1)

VI ジャコッパラNo.2 2 遺跡他の黒曜石産地推定

池谷 信之

1. 対象資料

ジャコッパラ遺跡群は霧ヶ峰南麓の標高 1300mから 1600mの丘陵上に展開している。星ヶ台産出地や観音沢産出地から数 kmの位置にあり、諏訪エリア原産地から消費地遺跡への黒曜石の受給を考えるうえで、きわめて重要な遺跡群である。

今回、諏訪市教育委員会より、ジャコッパラNo.22 遺跡第 2 次調査出土の旧石器時代黒曜石について産地推定の依頼を受けた。対象としたのは、出土石器のうち分析可能なすべての黒曜石 14 点であるが、同遺跡群から出土した旧石器時代の主要な石器 (No.1 遺跡・No.3 遺跡・No.4 遺跡・No.5 遺跡・No.6 遺跡・No.8 遺跡・No.10 遺跡・No.12 遺跡・No.13 遺跡・No.19 遺跡・No.21 遺跡、計 140 点) も含めて産地推定を実施した。

2. 分析方法

a. 原産地推定法

原子の周囲には内側から順にK殻・L殻・M殻……と呼ばれる軌道(電子殻)があり、外殻側は内殻側に比べより高いエネルギーを有している。原子に照射された一次X線は原子核の内殻側の電子をはじき飛ばすが、空席となった場所(空孔)には、外殻側の電子がエネルギーを放出しながら落ちてくる。このエネルギーが二次X線(蛍光X線)である。軌道間のエネルギー差は原子によって固有であるため、発生した蛍光X線も元素ごとに固有のエネルギー(波長)を有することになる。試料に含まれる元素Aの濃度が高ければ、より多くの蛍光X線aが生じるため(強度として示される)、試料中の元素Aの濃度を求めることが可能となる。

こうした原理を用いた分析法が蛍光X線分析法であり、用いられる機器には「波長分散型」と「エネルギー分散型」がある。後者のエネルギー分散型は波長分散型に比べて分解能が低いものの、完全な非破壊分析であり、装置がコンパクトかつ比較的安価であり、測定が簡便であるという利点がある。今回の分析に用いた装置は、池谷が所有するセイコー電子工業社製エネルギー分散蛍光X線装置SEA-2110である。

測定条件を次に示す。

電圧：50kV 電流：自動設定 ターゲット：Rh 管球 照射径：10mm 測定時間：300sec
検出器：Si (Li) 検出器 雰囲気：真空

計測された元素は以下の 11 元素である。

アルミニウム (Al)、ケイ素 (Si)、カリウム (K)、カルシウム (Ca)、チタン (Ti)、マンガン (Mn)、鉄 (Fe)、ルビジウム (Rb)、ストロンチウム (Sr)、イットリウム (Y)、ジルコニウム (Zr)

得られた元素の強度を用い、以下の 2 つの方法によって産地を決定する。

① 判別図法 (図による産地推定)

測定の結果得られる各元素の蛍光X線強度から以下の 4 つの指標を計算する。

指標 1 $Rb \text{ 分率} = Rb \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$

指標 2 $Mn \text{ 強度} \times 100 / Fe \text{ 強度}$

指標 3 $Sr \text{ 分率} = Sr \text{ 強度} \times 100 / (Rb \text{ 強度} + Sr \text{ 強度} + Y \text{ 強度} + Zr \text{ 強度})$

指標 4 $\log(Fe \text{ 強度} / K \text{ 強度})$

指標 1・2 と指標 3・4 をそれぞれ X 軸と Y 軸とした 2 つの判別図 (図 1 左・図 1 右) を作成し、原産地黒曜石の散布域とプロットされた遺跡出土黒曜石の位置によって産地を決定する。

② 判別分析 (多変量解析による産地推定)

判別図法による産地推定結果を検証するために、多変量解析の一手法である判別分析を行っている。判別分析では遺跡出土の試料 1 点ごとに、各原産地との距離 (マハラノビス距離と呼ばれる) を計算し、試料との距離がもっとも小さい産地がその試料の産地の第 1 の候補となる。またそれぞれの産地とのマハラノビス距離から、試料が各原産地に属する確率も計算され、その数値が 1 (100%) に近いほど推定結果の信頼性は高くなる。

表③～表④では紙数の関係から推定候補の第 2 位までのマハラノビス距離と確率を示した。判別分析の結果と判別図法を総合して最終的な推定産地を決定している。

b. 原産地黒曜石の測定

推定の基準試料となる原産地黒曜石については、以下の産地の原石を収集し測定した。

高原山エリア：桜沢

和田 (WD) エリア：芙蓉ライト・丁子御領・鷹山・小深沢・東餅屋土屋橋・土屋橋北 (3 地点)・土屋橋東 (2 地点)

土屋橋西・土屋橋南・鷲ヶ峰・ウツギ沢・古峠・和田峠西

和田 (WO) エリア：ブドウ沢・牧ヶ沢下・牧ヶ沢上・高松沢・本沢下

諏訪エリア：星ヶ台・星ヶ塔・水月霊園・東俣・八島

蓼科エリア：麦草峠・麦草峠東・渋ノ湯・冷山・双子池

箱根エリア：芦ノ湯・畑宿・黒岩橋・甘酒橋・鍛冶屋・上多賀

天城エリア：柏峠

神津島エリア：恩馳島・長浜・沢尻・砂糠崎

3. 分析結果

(1) ジャコッパラ No.22 遺跡

ジャコッパラ No.22 遺跡の判別図を図 1 に示し、産地別集計表を表 1 に示した。資料 1 点ごとの分析結果は表 3 に示した。分析した 14 点のうち、「推定不可」となったものが 3 点含まれるが、それ以外はすべて諏訪星ヶ台産 (SWHD) であった。「推定不可」となったものの中に、判別分析結果 1 位の候補として和田小深沢産 (WDKB) を示しているものが 1 点 (No.22-12) 含まれており、他の原産地が含まれている可能性がある。また諏訪原産地には、星ヶ台・星ヶ塔・八島・東俣・水月霊園などの産出地があるが、非破壊の蛍光 X 線分析ではこれらの細別ができない。採取地点を地理的に限定するには、原礫面の観察などを合わせて行う必要がある。

(2) ジャコッパラ No.1 遺跡他

ジャコッパラNo.1 遺跡他の判別図を図2に示し、産地別集計表を表2に示した。資料1点ごとの分析結果は表3～表4に示した。なお表3～表4の「報告書No.」は『諏訪市埋蔵文化財調査報告書』の号数を示し、図版番号は報告書に掲載された図版の番号を示している。

分析された資料は、旧石器時代に帰属するものに限って抽出されているが、台形様石器や角錐状石器、後半段階のナイフ形石器など、複数の時期のものが含まれている。また製品としての石器と主要な剥片類に限定した分析であるため、産地推定結果については、対象を剥片類に広げた後に改めて評価を行いたい。

<参考文献>

- 諏訪市教育委員会 1988 『ジャコッパラI- 長野県諏訪市ジャコッパラ遺跡第1次発掘調査報告書 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第17集
- 諏訪市教育委員会 1993 『ジャコッパラII- 平成4年度長野県黒曜石原産地分布調査概報 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第27集
- 諏訪市教育委員会 1994 『ジャコッパラIII- 平成5年度長野県黒曜石原産地分布調査概報 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第29集
- 諏訪市教育委員会 1995 『ジャコッパラIV- 長野県諏訪市ジャコッパラNo.12 遺跡緊急発掘調査報告書 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第32集
- 諏訪市教育委員会 1995 『ジャコッパラV- 平成6年度長野県黒曜石原産地分布調査概報 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第30集
- 諏訪市教育委員会 1997 『ジャコッパラVII- 長野県諏訪市ジャコッパラNo.6・No.15 遺跡緊急発掘調査報告 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第35集
- 諏訪市教育委員会 1997 『ジャコッパラVIII- 平成8年度長野県黒曜石原産地分布調査概報 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第38集
- 諏訪市教育委員会 1998 『ジャコッパラIX- 平成9年度長野県黒曜石原産地分布調査概要 - 』 諏訪市埋蔵文化財報告第46集

表1 ジャコッパラ No.22 遺跡の産地推定集計表

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WD)	フヨーライト	WDHY	0	0.0
	鷹山	WDTY	0	0.0
	小深沢	WDKB	0	0.0
	土屋橋北	WDTK	0	0.0
	土屋橋西	WDTN	0	0.0
	土屋橋南	WDTM	0	0.0
	古峠	WDHT	0	0.0
和田(WO)	高松沢	WOTM	0	0.0
	ブドウ沢	WOBD	0	0.0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0.0
諏訪	星ヶ台	SWHD	11	100.0
蓼科	冷山	TSTY	0	0.0
	双子山	TSHG	0	0.0
天城	柏峠	AGKT	0	0.0
箱根	畑宿	HNHJ	0	0.0
	鍛冶屋	HNKJ	0	0.0
	黒岩橋	HNKI	0	0.0
	上多賀	HNKT	0	0.0
	芦ノ湯	HNAY	0	0.0
神津島	恩馳島	KZOB	0	0.0
	砂糠崎	KZSN	0	0.0
	砂糠崎X	KZSX	0	0.0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0.0
合計			11	100.0

不可	3	
非黒曜石	0	
総計	14	

表2 ジャコッパラ No.1 遺跡他の産地推定集計表

エリア	判別群	記号	試料数	%
和田(WD)	フヨーライト	WDHY	0	0.0
	鷹山	WDTY	23	16.8
	小深沢	WDKB	3	2.2
	土屋橋北	WDTK	0	0.0
	土屋橋西	WDTN	0	0.0
	土屋橋南	WDTM	0	0.0
	古峠	WDHT	0	0.0
和田(WO)	高松沢	WOTM	0	0.0
	ブドウ沢	WOBD	0	0.0
	牧ヶ沢	WOMS	0	0.0
諏訪	星ヶ台	SWHD	77	56.2
蓼科	冷山	TSTY	34	24.8
	双子山	TSHG	0	0.0
天城	柏峠	AGKT	0	0.0
箱根	畑宿	HNHJ	0	0.0
	鍛冶屋	HNKJ	0	0.0
	黒岩橋	HNKI	0	0.0
	上多賀	HNKT	0	0.0
	芦ノ湯	HNAY	0	0.0
神津島	恩馳島	KZOB	0	0.0
	砂糠崎	KZSN	0	0.0
	砂糠崎X	KZSX	0	0.0
高原山	甘湯沢	THAY	0	0.0
合計			137	100.0

不可	3	
非黒曜石	0	
総計	140	

表3 ジャコッパラ遺跡群の産地推定結果(1)

No	分析No.	報告書No.	図版番号	器種	推定産地	判別図 判別群	判別分析						Rb%	Mn/Fe	Sr%	Fe/K
							候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2				
1	Na22-1	75集	写真1	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	8.88	1.00	WDTK	115.81	0.00	37.46	11.40	11.76	1.01
2	Na22-2	75集	写真2	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.95	1.00	WDTN	95.15	0.00	39.39	11.12	13.54	1.02
3	Na22-3	75集	写真3	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	6.51	1.00	WDTN	66.99	0.00	39.54	10.37	13.41	1.04
4	Na22-4	75集	写真4	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	4.64	1.00	WDTN	101.12	0.00	36.73	10.73	13.90	1.01
5	Na22-5	75集	写真5	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	4.30	1.00	WDTN	112.21	0.00	36.35	10.91	13.63	0.99
6	Na22-6	75集	写真6	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.65	1.00	WDTN	81.56	0.00	39.04	10.93	12.11	1.04
7	Na22-7	75集	写真7	剥片	不可	不可	SWHD	25.30	1.00	KZSN	128.34	0.00	34.59	11.19	15.21	1.00
8	Na22-8	75集	図16・写真8	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.73	1.00	WDTN	63.16	0.00	39.04	10.60	11.52	1.06
9	Na22-9	75集	写真9	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.45	1.00	WDTN	86.36	0.00	37.48	10.66	12.81	0.99
10	Na22-10	75集	写真10	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	2.76	1.00	WDTN	73.01	0.00	39.95	10.85	13.03	0.99
11	Na22-11	75集	写真11	剥片	不可	不可	SWHD	14.22	1.00	WDTN	43.14	0.00	41.71	10.36	10.82	0.99
12	Na22-12	75集	写真12	剥片	不可	不可	WDBK	4.50	0.86	WDTY	9.89	0.14	52.81	12.39	1.18	1.15
13	Na22-13	75集	写真13	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	7.62	1.00	WDTN	94.29	0.00	37.36	10.89	11.06	1.07
14	Na22-14	75集	写真14	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	0.48	1.00	WDTN	86.94	0.00	37.86	10.72	13.29	1.04
15	Na1-1	17集	12図1	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	9.34	1.00	WDTK	111.13	0.00	38.91	11.39	12.37	1.02
16	Na1-2	17集	12図2	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	2.21	0.99	WDBK	10.93	0.01	53.61	12.85	0.41	1.10
17	Na1-3	17集	12図3	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	4.28	1.00	WDBK	24.33	0.00	52.88	13.32	0.22	1.11
18	Na1-4	17集	12図4	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	9.76	1.00	WDHY	18.73	0.00	53.22	13.91	0.52	1.05
19	Na1-5	17集	12図5	剥片	WDBK	WDBK	WDBK	3.90	1.00	WDTY	19.78	0.00	51.32	12.19	4.74	1.21
20	Na1-6	17集	12図6	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	9.41	1.00	WDTN	73.96	0.00	40.27	11.16	9.48	1.04
21	Na1-7	17集	12図7	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	2.71	0.99	KZSX	8.75	0.01	23.09	5.40	29.15	1.59
22	Na1-8	17集	12図8	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.48	1.00	WDTN	79.42	0.00	39.12	10.96	11.77	1.04
23	Na1-9	17集	12図9	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	5.41	1.00	TSHG	12.99	0.00	23.74	4.88	31.32	1.60
24	Na1-10	17集	13図10	男女倉型尖頭器	SWHD	SWHD	SWHD	9.26	1.00	WDTN	65.31	0.00	40.72	10.61	12.43	1.02
25	Na1-11	38集	25図26	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	6.44	1.00	TSHG	21.52	0.00	23.30	4.74	30.48	1.60
26	Na3-1	27集	8図2	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	2.47	1.00	WDTN	55.10	0.00	39.74	10.56	11.30	1.04
27	Na3-2	27集	8図4	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	3.04	0.99	TSHG	7.88	0.01	23.04	5.44	30.96	1.69
28	Na3-3	27集	9図6	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	7.17	1.00	WDHY	14.38	0.00	53.95	13.60	0.15	1.11
29	Na4-1	27集	9図5	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.82	1.00	WDTK	94.95	0.00	38.38	11.19	11.85	1.04
30	Na5-1	27集	9図8	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	3.15	0.95	WDBK	7.20	0.05	52.44	12.77	1.43	1.10
31	Na5-2	27集	9図9	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.83	1.00	WDTK	76.80	0.00	39.78	11.07	12.76	0.97
32	Na5-3	27集	9図10	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	5.86	1.00	WDTN	79.23	0.00	39.56	10.64	13.84	1.01
33	Na6-1	35集	12図1	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	7.54	1.00	KZSX	14.45	0.00	24.26	5.14	29.57	1.69
34	Na6-2	35集	12図2	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	9.84	1.00	WDTK	109.13	0.00	39.35	11.23	14.45	1.03
35	Na6-3	35集	12図4	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	2.82	0.96	KZSX	5.84	0.02	23.94	5.55	29.37	1.58
36	Na6-4	35集	12図5~8	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	5.07	0.99	TSHG	9.19	0.01	23.72	5.20	31.56	1.58
37	Na8-1	27集	26図14	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	2.15	1.00	WDTN	85.76	0.00	38.07	10.77	13.35	1.11
38	Na8-2	27集	26図15	台形礫石器	TSTY	TSTY	TSTY	7.35	1.00	KZSX	32.01	0.00	20.12	4.71	31.18	1.76
39	Na8-3	27集	26図16	台形礫石器	TSTY	TSTY	TSTY	4.69	1.00	KZSX	14.18	0.00	22.10	5.51	31.18	1.72
40	Na8-4	27集	26図17	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	3.77	0.99	KZSX	9.45	0.01	23.35	5.50	30.17	1.62
41	Na8-5	27集	26図18	台形礫石器	TSTY	TSTY	TSTY	3.37	1.00	TSHG	24.74	0.00	20.96	4.92	32.32	1.78
42	Na8-6	27集	26図19	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	7.06	0.97	TSHG	8.93	0.03	24.45	5.40	30.43	1.66
43	Na8-7	27集	26図20	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	4.37	1.00	WDTN	72.61	0.00	39.77	10.99	10.64	1.03
44	Na8-8	27集	26図21	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	5.32	1.00	WDTN	81.51	0.00	38.43	10.95	10.77	1.02
45	Na8-9	27集	26図22	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	2.72	1.00	WDTN	101.74	0.00	38.32	11.05	13.67	1.00
46	Na8-10	27集	27図23・24	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	0.90	1.00	WDBK	17.51	0.00	53.72	13.14	0.35	1.14
47	Na8-11	27集	28図25	石核	SWHD	SWHD	SWHD	7.38	1.00	WDTN	55.21	0.00	40.47	10.46	11.71	1.02
48	Na8-12	27集	28図26	石核	WDTY	WDTY	WDTY	4.78	1.00	WDBK	21.82	0.00	51.83	13.29	1.40	1.08
49	Na8-13	27集	29図28	ナイフ形石器?	SWHD	SWHD	SWHD	2.33	1.00	WDTN	87.13	0.00	38.70	10.80	13.39	1.02
50	Na8-14	27集	29図29	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	13.53	1.00	KZSX	21.22	0.00	19.96	5.50	30.19	1.76
51	Na8-15	27集	29図30	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	3.25	1.00	KZSX	11.77	0.00	22.41	5.40	30.34	1.60
52	Na8-16	27集	29図31	台形礫石器?	TSTY	TSTY	TSTY	4.22	1.00	KZSX	24.11	0.00	21.11	4.90	31.42	1.76
53	Na8-17	27集	29図32	台形礫石器?	TSTY	TSTY	TSTY	22.87	1.00	KZSX	50.69	0.00	20.08	4.86	33.88	1.79
54	Na8-18	27集	30図33・34	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	2.75	1.00	WDTN	90.13	0.00	37.53	10.85	12.19	1.01
55	Na8-19	27集	30図35	加工剥片	SWHD	SWHD	SWHD	6.05	1.00	WDTN	107.88	0.00	36.85	11.03	12.69	1.00
56	Na8-20	27集	30図36	石核	TSTY	TSTY	TSTY	4.30	0.98	KZSX	8.23	0.02	23.23	5.58	29.30	1.60
57	Na8-21	27集	30図37	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	5.62	1.00	WDHY	19.60	0.00	54.56	13.46	0.13	1.13
58	Na10-1	27集	48図39	剥片	不可	不可	WOTM	36.37	0.99	WDTM	45.41	0.01	37.00	8.85	14.73	1.14
59	Na10-2	27集	48図40	剥片	WDBK	WDBK	WDBK	4.51	0.99	WDTK	13.57	0.01	51.70	11.73	1.67	1.21
60	Na10-3	27集	48図41	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	4.55	1.00	WDHY	16.20	0.00	54.42	13.56	0.13	1.12
61	Na12-1	29集	9図1	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.14	1.00	WDTN	84.18	0.00	38.73	11.00	11.99	0.98
62	Na12-2	29集	9図2	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.70	1.00	WDTN	62.85	0.00	39.89	10.55	12.43	1.04
63	Na12-3	29集	9図3	石核	SWHD	SWHD	SWHD	1.94	1.00	WDTN	71.30	0.00	39.64	10.89	11.49	1.04
64	Na12-4	29集	10図1	加工剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.05	1.00	WDTN	73.96	0.00	38.20	10.49	13.09	1.05
65	Na12-5	29集	10図2	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.21	1.00	WDTN	74.75	0.00	38.37	10.50	13.51	1.04
66	Na12-6	29集	10図3	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	1.35	1.00	WDTN	76.30	0.00	38.25	10.49	13.62	1.04
67	Na12-7	29集	10図4	石核	SWHD	SWHD	SWHD	6.13	1.00	WDTK	90.94	0.00	39.87	11.30	12.92	1.02
68	Na12-8	29集	11図1	石核	SWHD	SWHD	SWHD	1.78	1.00	WDTN	62.25	0.00	39.14	10.61	11.54	1.03
69	Na12-9	29集	11図2	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.61	1.00	WDTK	79.56	0.00	39.94	11.24	12.10	1.03
70	Na12-10	29集	12図1	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	2.80	1.00	WDTN	60.76	0.00	38.67	10.33	12.44	1.03
71	Na12-11	32集	9図1	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	4.76	1.00	WDTN	90.81	0.00	37.89	10.95	12.20	1.05
72	Na12-12	32集	9図2	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	5.72	1.00	WDTN	49.79	0.00	40.86	10.47	12.22	1.05
73	Na12-13	32集	9図3	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	2.81	1.00	WDTN	64.28	0.00	39.56	10.71	11.17	1.05
74	Na12-14	32集	9図4	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	8.74	1.00	WDTN	112.11	0.00	37.29	11.27	11.77	1.04
75	Na12-15	32集	9図5	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	5.27	1.00	WDTK	97.02	0.00	38.22	11.12	13.19	1.03
76	Na12-16	32集	9図6	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	30.48	1.00	WDTK	130.69	0.00	40.23	11.29	15.91	1.02
77	Na12-17	32集	9図7	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	10.89	1.00	WDTK	116.87	0.00	37.15	11.28	13.77	1.04

表4 ジャコツパラ遺跡群の産地推定結果(2)

No	分析No	報告書No	図版番号	器種	推定産地	判別図 判別群	判別分析						Rb%	Mn/Fe	Sr%	Fe/K
							候補1	距離1	確率1	候補2	距離2	確率2				
78	Na.12-18	32集	9図8	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	8.61	1.00	WDTN	82.45	0.00	39.88	10.67	14.26	1.04
79	Na.12-19	32集	9図9	台形礫石器	SWHD	SWHD	SWHD	2.22	1.00	WDTN	74.36	0.00	38.38	10.73	11.70	1.04
80	Na.12-20	32集	10図10	加工剥片	SWHD	SWHD	SWHD	7.88	1.00	WDTN	83.30	0.00	37.94	10.39	14.72	1.04
81	Na.12-21	32集	10図11	加工剥片	SWHD	SWHD	SWHD	21.60	1.00	WDTN	111.79	0.00	40.38	11.27	12.66	1.05
82	Na.12-22	32集	10図12	加工剥片	SWHD	SWHD	SWHD	8.32	1.00	WDTK	125.48	0.00	37.26	11.49	13.45	0.98
83	Na.12-23	32集	10図13	ナイフ形石器	WDTY	WDTY	WDTY	2.35	1.00	WDHY	15.99	0.00	54.98	13.30	0.22	1.07
84	Na.12-24	32集	10図14	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	1.47	1.00	TSHG	10.21	0.00	23.73	5.10	29.80	1.64
85	Na.12-25	32集	10図15	ナイフ形石器	WDTY	WDTY	WDTY	4.77	1.00	WDHY	21.08	0.00	53.00	13.50	0.08	1.14
86	Na.12-26	32集	写真1上左	剥片	不可	不可	TSTY	18.93	0.96	TSHG	19.66	0.04	26.18	4.43	29.31	1.59
87	Na.12-27	32集	写真1上中	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	9.52	1.00	WDTN	84.49	0.00	39.49	11.23	9.72	1.04
88	Na.12-28	32集	写真1上右	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	5.83	1.00	WDTK	100.53	0.00	38.75	11.32	11.57	1.05
89	Na.12-29	32集	写真1中左	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	6.13	1.00	KZSX	21.09	0.00	23.34	4.67	29.47	1.67
90	Na.12-30	32集	写真1中中	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	1.75	1.00	KZSX	8.56	0.00	22.35	5.45	29.79	1.61
91	Na.12-31	32集	写真1中右	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.73	1.00	WDTN	116.17	0.00	37.19	11.07	14.41	1.04
92	Na.12-32	32集	写真1下左	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	0.62	1.00	WDTN	72.81	0.00	38.68	10.67	12.25	1.03
93	Na.12-33	32集	写真1下中	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	4.90	1.00	WDTN	77.14	0.00	37.26	10.35	12.36	1.07
94	Na.12-34	32集	写真1下右	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	2.34	1.00	WDTN	67.51	0.00	38.40	10.52	11.73	1.04
95	Na.12-35	32集	12図18	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	1.69	1.00	WDTN	70.79	0.00	39.10	10.73	12.51	1.02
96	Na.12-36	32集	12図19	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	4.11	1.00	WDTN	97.05	0.00	36.83	10.46	14.76	1.07
97	Na.12-37	32集	12図20	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	6.41	1.00	WDTN	78.33	0.00	38.16	10.76	10.61	1.08
98	Na.12-38	32集	12図21	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	12.17	1.00	WDTN	83.62	0.00	40.56	10.75	14.46	1.05
99	Na.12-39	32集	12図22	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	10.81	1.00	WDTK	128.02	0.00	36.65	11.43	13.17	1.01
100	Na.12-40	32集	12図23	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	5.59	1.00	WDTN	82.36	0.00	39.31	10.72	13.22	1.02
101	Na.12-41	32集	12図24	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	2.66	1.00	WDTN	83.68	0.00	38.42	10.93	12.13	1.02
102	Na.12-42	32集	12図25	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	3.28	1.00	TSHG	15.99	0.00	23.31	4.79	30.57	1.62
103	Na.12-43	32集	12図26	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	6.43	1.00	WDTK	116.49	0.00	37.45	11.39	13.07	1.03
104	Na.12-44	32集	12図27	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	7.10	1.00	WDTK	81.66	0.00	40.37	11.37	11.77	1.04
105	Na.12-45	32集	12図28	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	2.46	1.00	TSHG	12.49	0.00	22.32	5.22	31.40	1.64
106	Na.12-46	32集	12図29	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	1.95	1.00	WDTN	73.88	0.00	39.64	10.80	13.17	1.03
107	Na.12-47	32集	12図31	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	6.44	1.00	WDTK	115.23	0.00	38.11	11.40	13.97	1.04
108	Na.12-48	32集	12図32	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	5.89	1.00	TSHG	14.44	0.00	23.25	5.27	31.42	1.63
109	Na.12-49	32集	12図33	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	7.93	0.98	TSHG	12.15	0.01	23.94	5.53	30.55	1.69
110	Na.12-50	32集	13図34	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	5.40	1.00	WDTN	118.15	0.00	35.97	10.90	13.90	1.00
111	Na.12-51	32集	13図35	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	6.52	1.00	WDTK	114.27	0.00	37.35	11.32	12.98	1.05
112	Na.12-52	32集	13図36	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	4.45	1.00	WDTN	72.74	0.00	37.60	10.24	13.49	1.07
113	Na.12-53	32集	13図37	角錐状石器	WDTY	WDTY	WDTY	9.49	1.00	WDHY	16.02	0.00	52.70	13.98	1.08	1.07
114	Na.12-54	32集	13図38	尖頭器	SWHD	SWHD	SWHD	3.21	1.00	WDTN	111.84	0.00	37.65	11.17	13.87	1.05
115	Na.12-55	32集	写真2上左端	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.71	1.00	WDTN	81.26	0.00	39.21	10.74	13.21	1.04
116	Na.12-56	32集	写真2上左	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	0.97	1.00	KZSX	11.31	0.00	23.19	5.22	30.17	1.62
117	Na.12-57	32集	写真2上右	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	3.18	1.00	WDTK	96.29	0.00	38.65	11.22	13.23	1.02
118	Na.12-58	32集	写真2上右端	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	3.39	0.97	KZSX	6.78	0.02	24.43	5.30	28.86	1.65
119	Na.12-59	32集	写真2下左端	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	10.97	1.00	WDHY	29.64	0.00	51.49	13.67	0.69	1.10
120	Na.12-60	32集	写真2下左	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	5.76	1.00	WDKB	16.03	0.00	51.67	13.02	0.73	1.12
121	Na.12-61	32集	写真2下右	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	5.20	0.98	KZSX	8.21	0.02	23.07	5.55	29.62	1.63
122	Na.12-62	32集	写真2下右端	剥片	SWHD	SWHD	SWHD	9.28	1.00	WDTK	95.26	0.00	39.91	11.36	13.88	1.03
123	Na.12-63	32集	写真3-1	石核	SWHD	SWHD	SWHD	13.00	1.00	WDTK	99.32	0.00	39.23	11.45	10.09	0.99
124	Na.12-64	32集	写真3-2	石核	不可	不可	SWHD	22.29	1.00	WDTM	35.06	0.00	39.84	9.51	12.62	1.08
125	Na.12-65	32集	写真3-3	石核	SWHD	SWHD	SWHD	2.33	1.00	WDTN	61.17	0.00	40.22	10.68	12.28	1.04
126	Na.12-66	32集	写真3-4	石核	SWHD	SWHD	SWHD	2.91	1.00	WDTN	95.01	0.00	38.01	10.71	14.64	1.05
127	Na.12-67	32集	写真3-5	石核	SWHD	SWHD	SWHD	14.94	1.00	WDTK	99.15	0.00	40.47	11.06	14.79	1.01
128	Na.12-68	32集	写真3-6	石核	SWHD	SWHD	SWHD	4.41	1.00	WDTN	98.56	0.00	36.86	10.53	14.20	1.04
129	Na.12-69	32集	写真3-7	石核	SWHD	SWHD	SWHD	6.44	1.00	WDTN	80.18	0.00	38.06	10.26	14.95	1.04
130	Na.12-70	32集	写真3-8	石核	WDTY	WDTY	WDTY	1.33	1.00	WDHY	15.80	0.00	53.84	13.20	2.00	1.11
131	Na.12-71	32集	写真3-9	石核	SWHD	SWHD	SWHD	19.74	1.00	WDTN	102.13	0.00	40.19	11.24	11.06	1.04
132	Na.12-72	32集	写真3-10	石核	SWHD	SWHD	SWHD	5.33	1.00	WDTN	62.08	0.00	39.44	10.29	13.46	1.05
133	Na.12-73	32集	写真3-11	石核	SWHD	SWHD	SWHD	1.88	1.00	WDTN	82.54	0.00	39.28	11.06	11.81	1.03
134	Na.12-74	32集	写真4下左端	加工剥片	SWHD	SWHD	SWHD	10.04	1.00	WDTN	92.78	0.00	37.18	10.84	10.99	1.01
135	Na.12-75	32集	写真4下左	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	0.99	1.00	KZSX	12.37	0.00	22.32	5.10	29.62	1.61
136	Na.12-76	32集	写真4下右	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	15.47	1.00	WDTK	121.06	0.00	37.08	11.42	10.88	1.04
137	Na.12-77	32集	写真4下端左端	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	9.30	1.00	WDTN	68.60	0.00	39.07	10.36	13.87	1.02
138	Na.12-78	32集	写真4下端右	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	3.61	1.00	WDTN	78.34	0.00	38.46	10.53	13.01	1.03
139	Na.12-79	32集	写真4下端右	ナイフ形石器	SWHD	SWHD	SWHD	2.39	1.00	WDTN	84.47	0.00	39.47	11.10	12.01	0.99
140	Na.12-80	32集	写真4下端右端	ナイフ形石器	TSTY	TSTY	TSTY	0.89	1.00	KZSX	13.77	0.00	21.96	5.34	30.90	1.65
141	Na.13-1	30集	10図1	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	3.12	1.00	WDHY	9.73	0.00	54.09	13.68	0.67	1.11
142	Na.13-2	30集	10図2	剥片	WDKB	WDKB	WDKB	0.81	1.00	WDTY	14.44	0.00	51.19	12.21	2.76	1.12
143	Na.13-3	30集	10図3	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	11.43	1.00	WDHY	27.58	0.00	51.36	13.83	1.20	1.10
144	Na.13-4	30集	10図4	剥片	WDTN	WDTY	WDTY	8.75	1.00	WDHY	22.21	0.00	51.92	13.79	1.11	1.11
145	Na.13-5	30集	10図5	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	4.08	1.00	WDKB	23.17	0.00	53.49	13.23	0.00	1.10
146	Na.13-6	30集	13図1	台形礫石器	TSTY	TSTY	TSTY	4.20	1.00	TSHG	13.07	0.00	23.13	5.37	31.01	1.62
147	Na.19-1	35集	17図1	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	3.84	1.00	WDKB	22.04	0.00	52.75	13.24	0.02	1.11
148	Na.19-2	35集	17図2	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	0.52	1.00	WDKB	11.72	0.00	53.43	12.99	1.41	1.10
149	Na.19-3	35集	17図3	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	2.23	1.00	WDKB	14.43	0.00	53.25	13.04	1.66	1.12
150	Na.19-4	35集	17図4	剥片	WDTY	WDTY	WDTY	5.75	1.00	WDHY	23.95	0.00	52.75	13.41	2.44	1.09
151	Na.21-1	46集	6図1	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	1.54	1.00	TSHG	11.91	0.00	23.53	4.95	30.08	1.84
152	Na.21-2	46集	6図2	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	0.76	1.00	TSHG	9.70	0.00	23.50	5.11	29.62	1.65
153	Na.21-3	46集	6図3	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	4.87	1.00	KZSX	12.39	0.00	24.01	4.94	28.48	1.63
154	Na.21-4	46集	6図4	剥片	TSTY	TSTY	TSTY	4.26	1.00	TSHG	11.79	0.00	24.01	4.89	30.53	1.58

写真図版



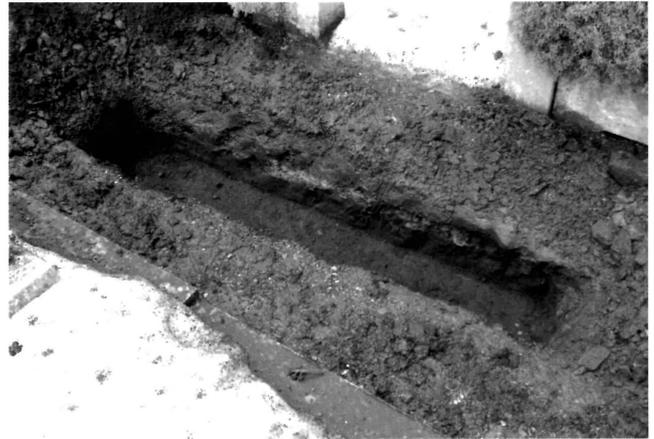
高島藩主廟所全景（北西から）



調査区全景（南から）



1 トレンチ完掘（南から）



1 トレンチ東壁（西から）



2 トレンチ完掘（南から）



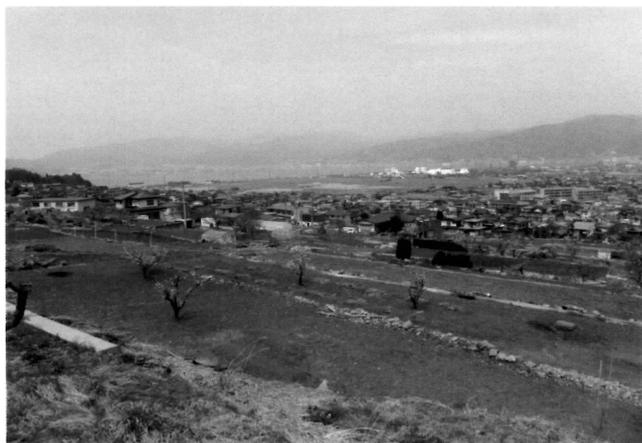
2 トレンチ東壁（西から）



3 トレンチ完掘（南から）



3 トレンチ東壁（西から）



大安寺遺跡全景（南から）



調査区全景（西から）



1 グリッド完掘（南から）



2 グリッド完掘（南から）



3 グリッド完掘（北から）



3 グリッド南壁（北から）



4 グリッド完掘（南から）



5 グリッド完掘（南から）

写真図版 3



諏訪神社上社遺跡全景（北から）



調査区全景（1・2グリッド、南から）



調査区全景（3グリッド、西から）



1 グリッド完掘 (東から)



1 グリッド北壁 (南から)



2 グリッド完掘 (東から)



2 グリッド南壁 (北から)



3 グリッド完掘 (北から)



3 グリッド南壁 (北から)



境内掘削工事の様子 (神楽殿前、南東から)



掘削断面 (神楽殿前、南から)

写真図版 5



ジャコッパラ遺跡群遠景 (杖突峠から北を望む)



ジャコッパラNo. 2 遺跡全景 (森林部分、北から)



石器集中出土地点周辺 (南西から)



調査区の現況 (尾根西斜面、西から)



7グリッド完掘 (南から)



7グリッド北壁 (南から)



7グリッド黒耀石器出土状況 (北東から)



13グリッド完掘 (東から)



20グリッド完掘 (東から)



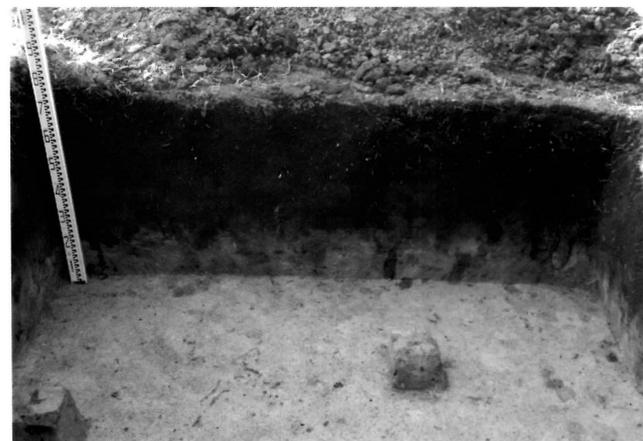
20グリッド北壁 (南から)



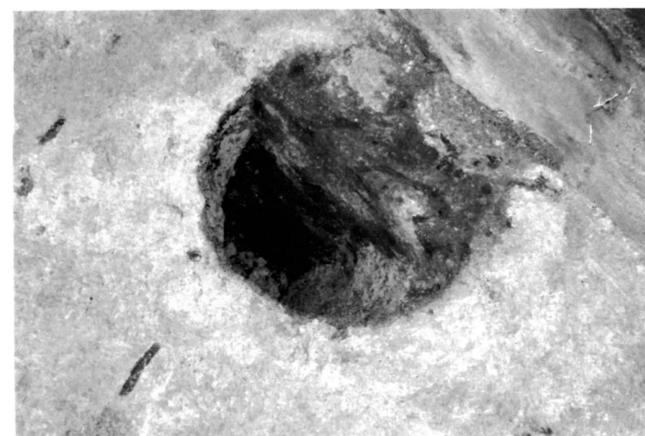
20グリッド黒曜石石器出土状況 (北から)



21グリッド遺構検出状況 (西から)



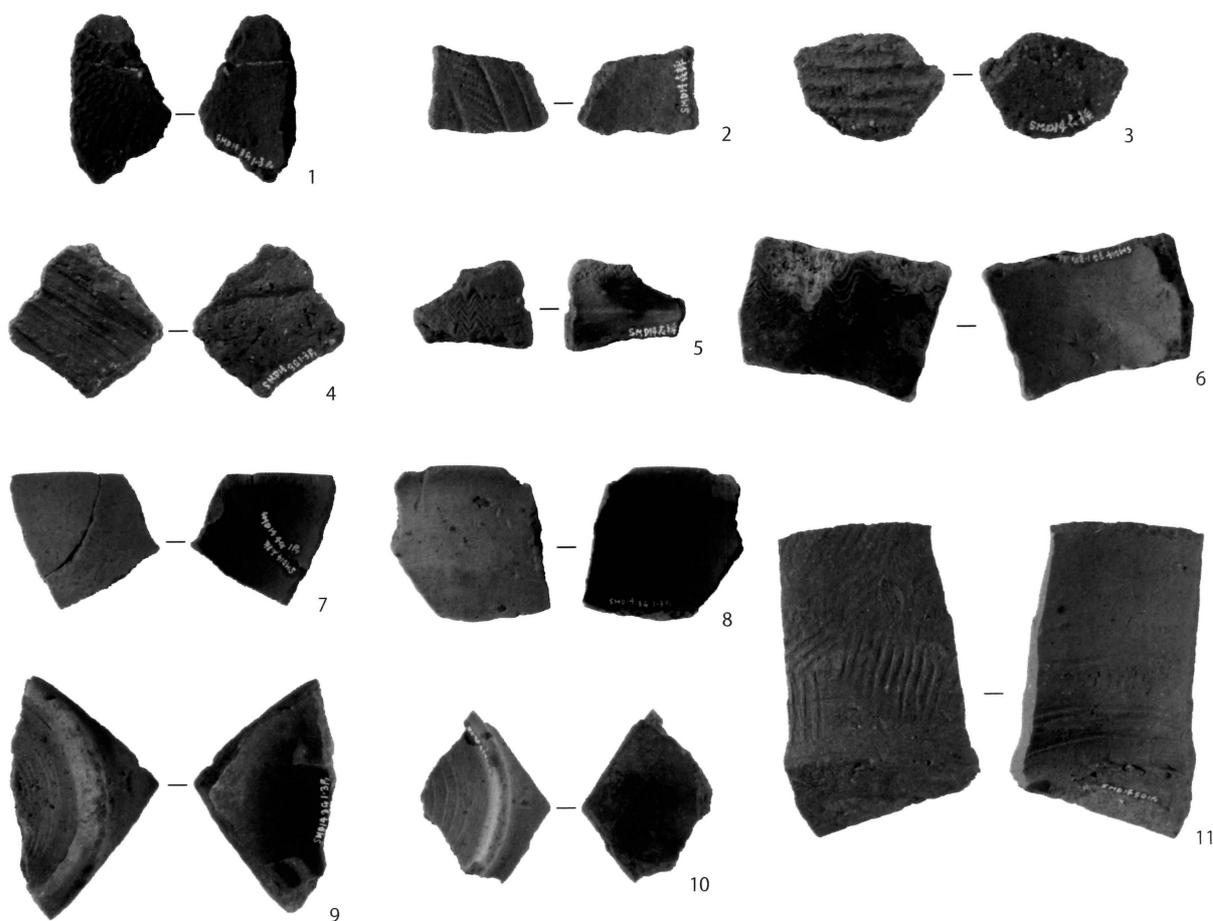
21グリッド西壁 (東から)



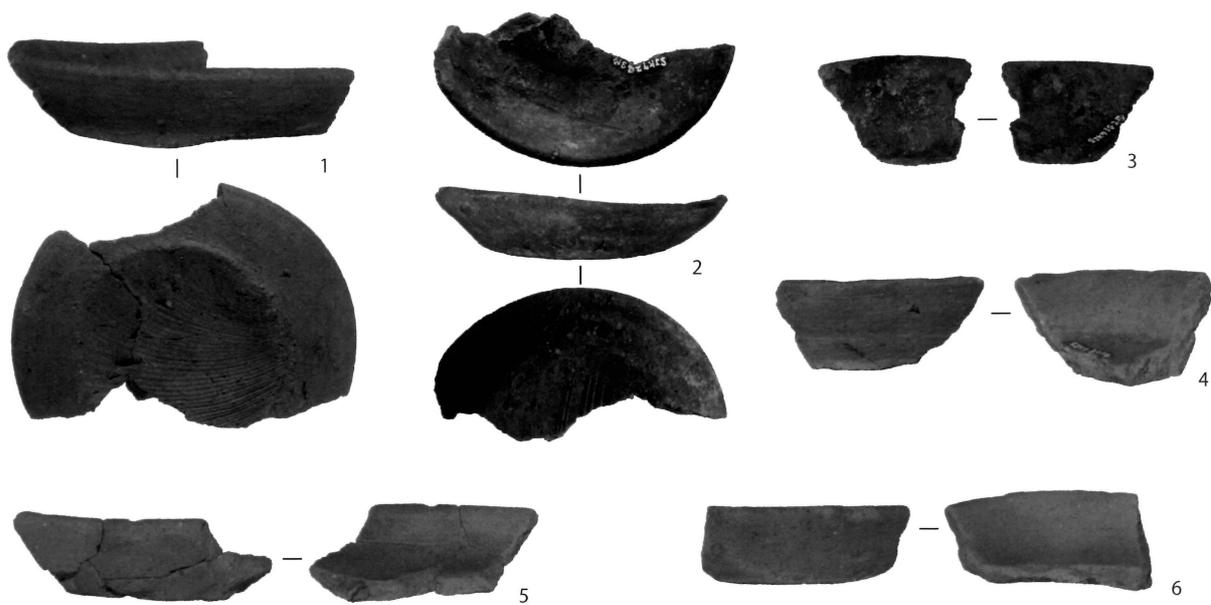
21グリッド小竪穴1半裁 (西から)



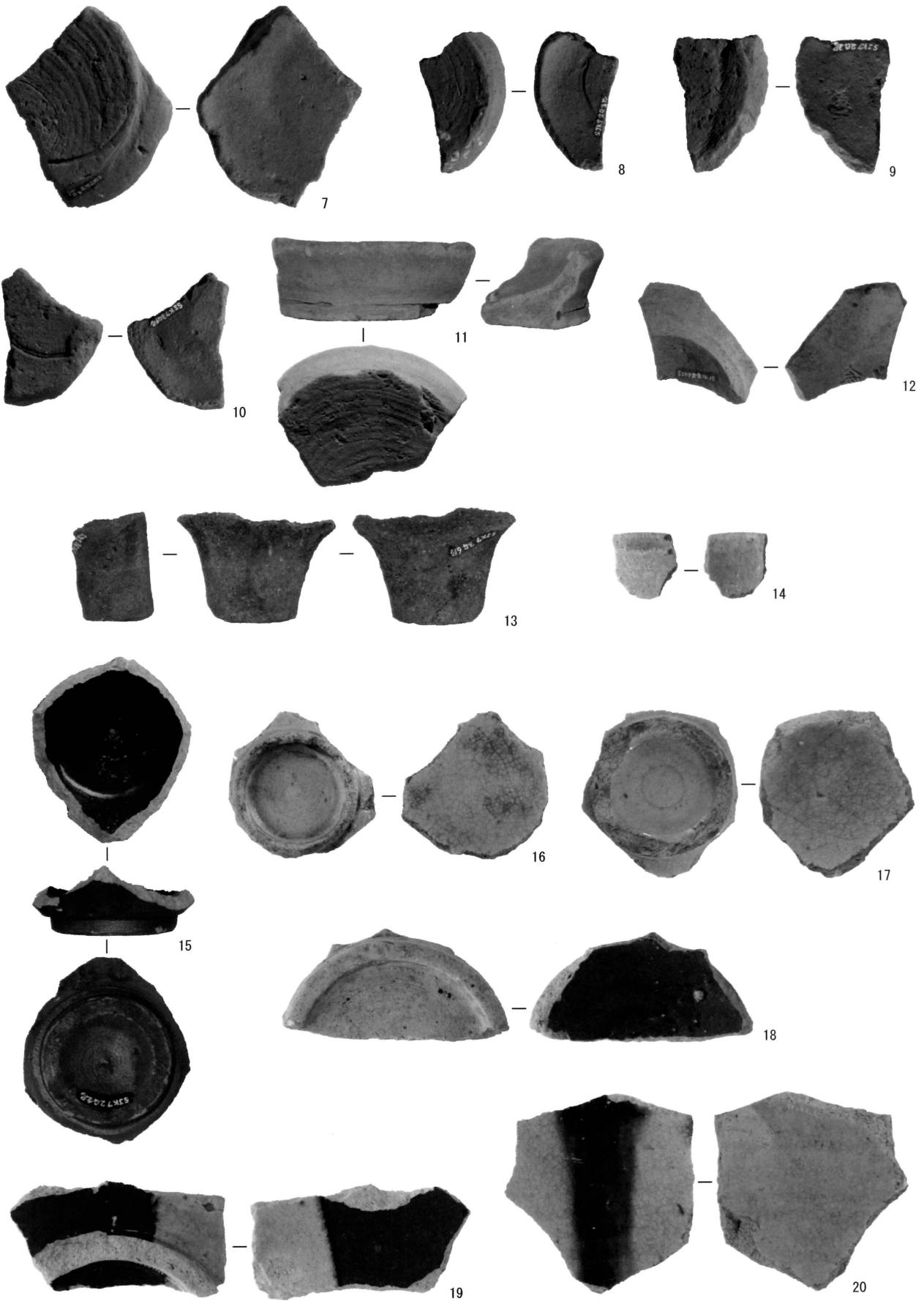
調査風景 (手前は21グリッド)



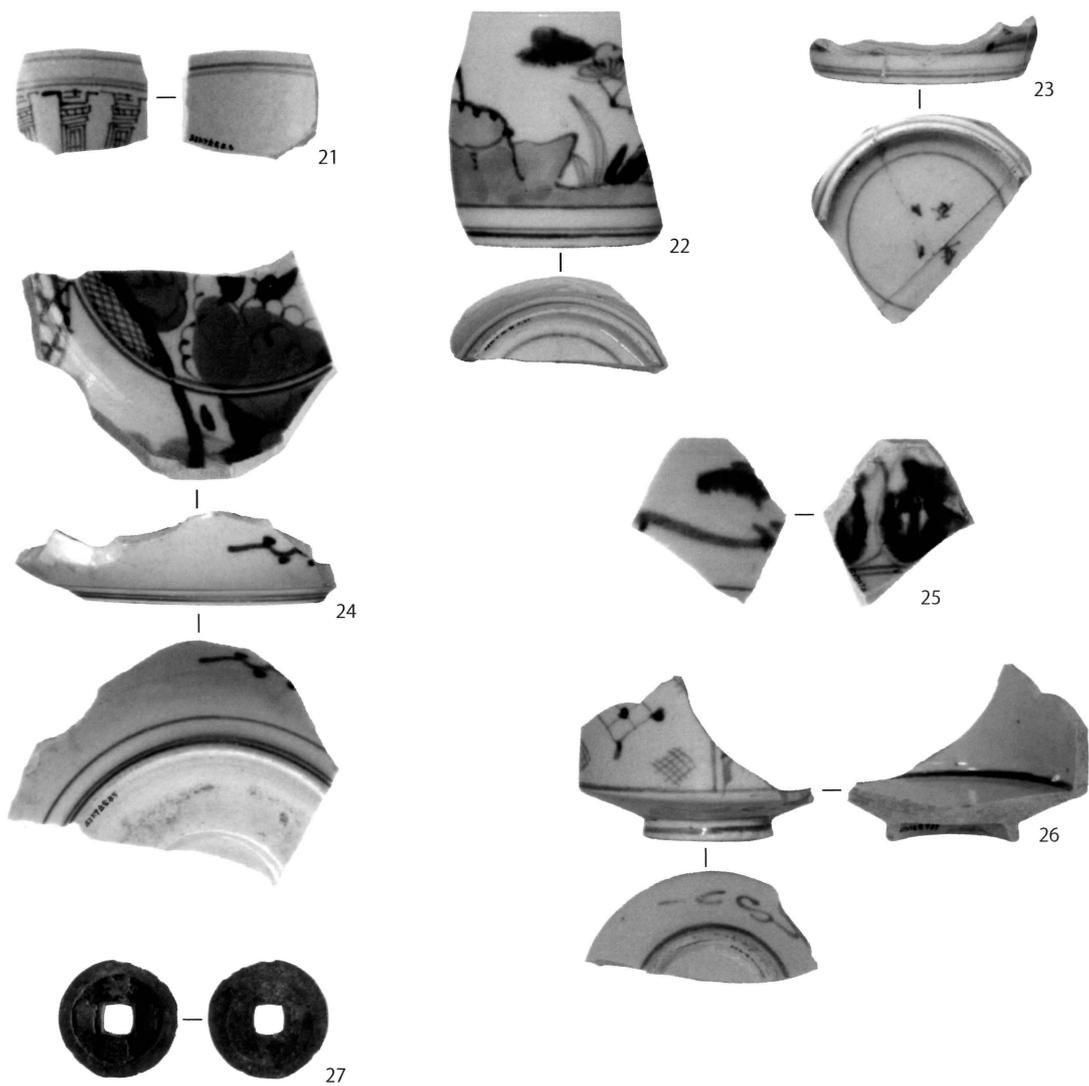
大安寺遺跡出土遺物



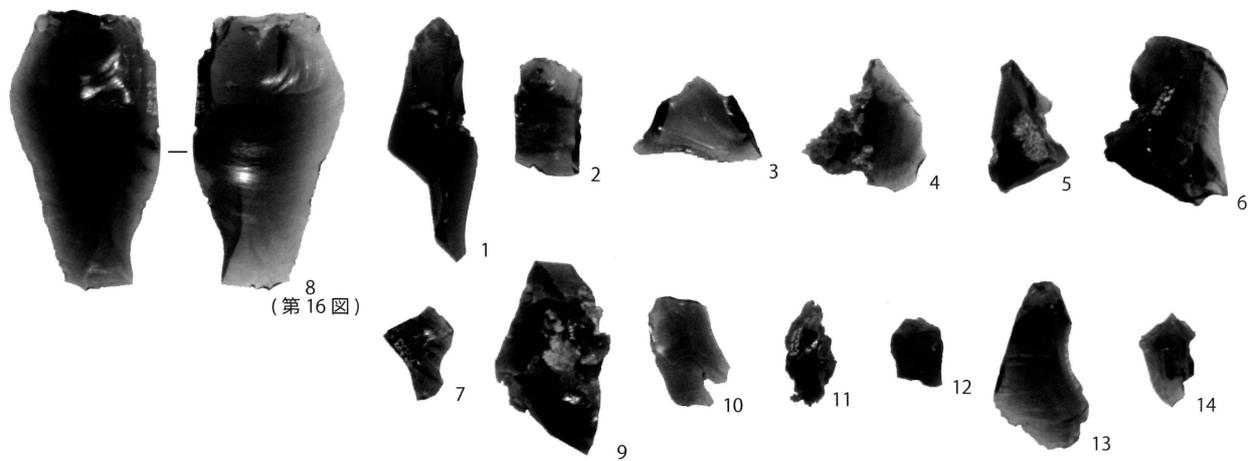
諏訪神社上社遺跡出土遺物 (1)



諏訪神社上社遺跡出土遺物 (2)



諏訪神社上社遺跡出土遺物 (3)



ジャコッパラNo.2 2 遺跡出土遺物

報告書抄録

ふりがな	しないいせきはくつちようさほうこくしよへいせいにじゅうろくねんど
書名	市内遺跡発掘調査報告書（平成26年度）
副書名	長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	諏訪市埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第75集
編著者名	児玉 利一
編集機関	諏訪市教育委員会
所在地	〒392-8511 長野県諏訪市高島1-22-30 電話0266-52-4141
発行年月日	平成27（2015）年3月26日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積 m ²	発掘原因
所収遺跡	所在地	市町村	遺跡番号	。 / 〃	。 / 〃			
たかしまはんしゆびようしよ	すわかみすわきたがいと	20206	57	36° 04' 95"	138° 12' 02"	20140313 ～ 20140317	3	保存目的のための 範囲内容確認調査
高島藩主廟所	諏訪市上諏訪北垣外 10637-15							
だいあんじいせき	すわしとよだひらばやし	20206	317	36° 01' 75"	138° 08' 70"	20140416 ～ 20140417	20	個人住宅建設に係る 試掘・確認調査
大安寺遺跡	諏訪市豊田平林 3585-1							
すわじんじやくみしやいせき	すわしなかずみやま	20206	352	35° 99' 79"	138° 11' 94"	20140603 ～ 20140604	3	防災設備設置に係る 試掘・確認調査
諏訪神社上社遺跡	諏訪市中洲宮山1							
じゃこつぱらNo.22遺跡	すわししがきりがみね 諏訪市四賀霧ヶ峰 7719-186他	20206	451	36° 05' 27"	138° 15' 40"	20141104 ～ 20141120	84	太陽光発電施設建設 に係る試掘・確認調査
ジャコツバラNo.22遺跡								

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
高島藩主廟所	墓	近世			
大安寺遺跡	集落	縄文・弥生・平安		土器・土師器	
諏訪神社上社遺跡	社寺	中世・近世・近代		カワラケ・陶器・磁器・ 銭貨	
ジャコツバラNo.22遺跡	散布地	旧石器	石器集中出土地点1・小竪穴1	石器	

要 約	<ul style="list-style-type: none"> ・高島藩主廟所 第2次：近現代の石造物片少量出土。 ・大安寺遺跡 第14次：遺物少量出土。 ・諏訪神社上社遺跡 第7次：造成土を検出。中・近世遺物出土。 ・ジャコツバラNo.22遺跡 第2次：旧石器時代の黒曜石石器集中出土地点を検出。
-----	--

市内遺跡発掘調査報告書（平成26年度）

－長野県諏訪市内遺跡発掘調査報告書－

平成27年3月26日

編集・発行 長野県諏訪市高島1-22-30

諏訪市教育委員会

印刷 有限会社増澤印刷所